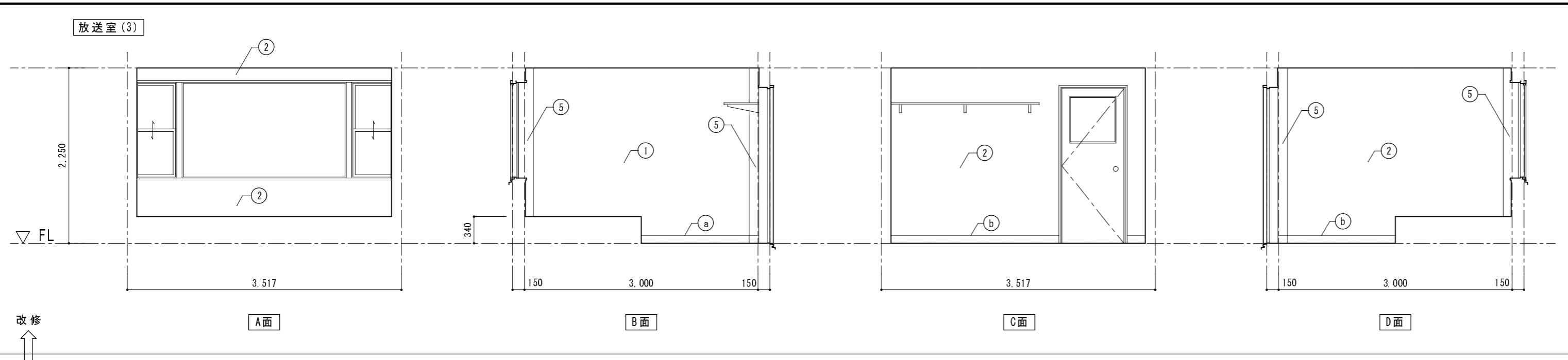


特別室

記号	既存仕上	既存処理	改修仕上
壁 ①	吸音石膏板-1' (7)9.5 EP塗り	撤去 軽鉄下地共	吸音石膏板-1' (7)9.5 EP塗り
壁 ②	吸音石膏板-1' (7)9.5 EP塗り		既存のまま
壁 ③	吸音石膏板-1' (7)9.5 EP塗り	撤去 軽鉄下地共	PB(7)12.5+9.5 EP塗り
壁 ④	珪藻土珪子押工 EP塗り		EP塗替え
壁 ⑤	珪藻土珪子押工 EP塗り		既存のまま
壁 ⑥	珪藻土珪子押工 EP塗り	撤去	珪藻土珪子押工 EP塗り
巾木 a	ソト巾木 H=100	撤去	ソト巾木 H=100
巾木 b	ソト巾木 H=100		既存のまま

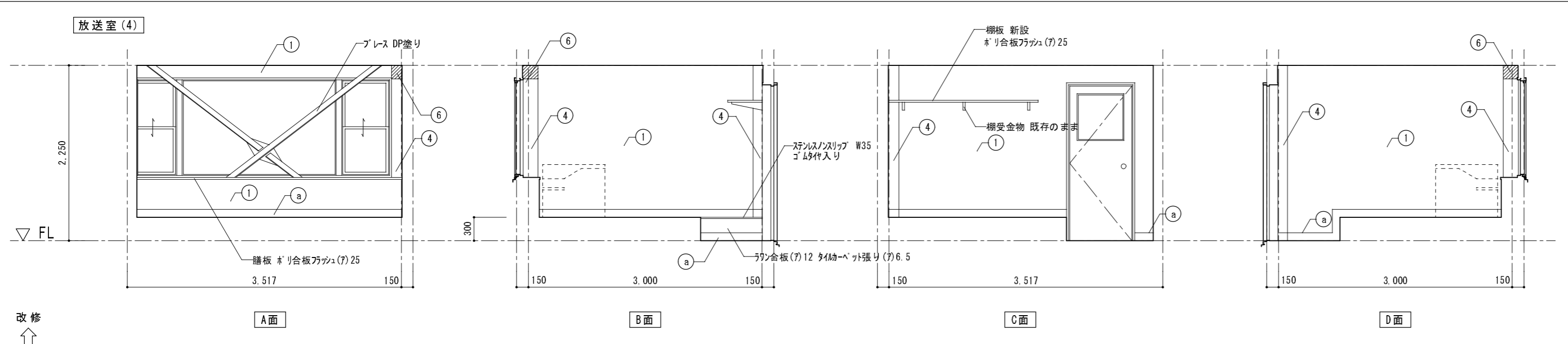
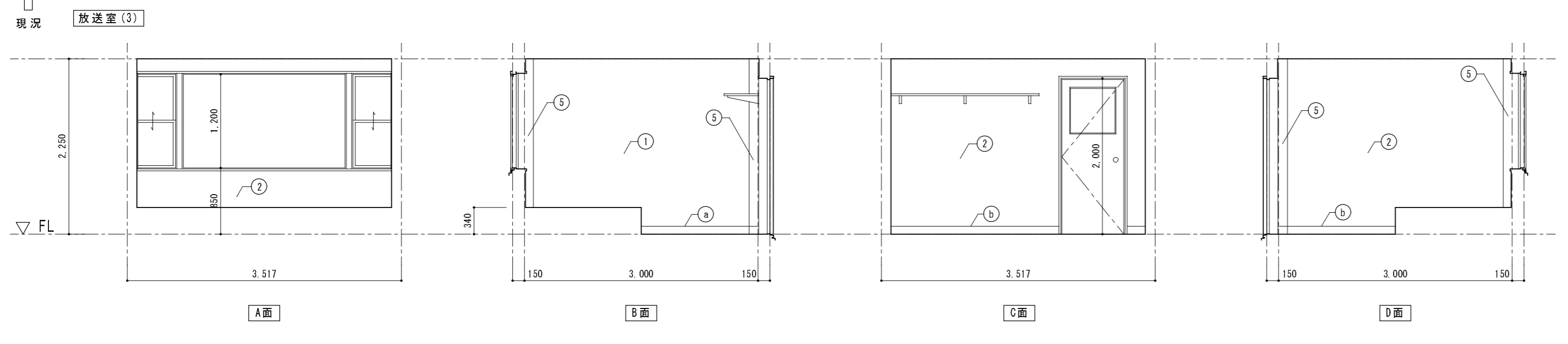
放送室(1)

記号	既存仕上	既存処理	改修仕上
壁 ①	吸音石膏板-1' (7)9.5 EP塗り	撤去 軽鉄下地共	吸音石膏板-1' (7)9.5 EP塗り
壁 ②	吸音石膏板-1' (7)9.5 EP塗り		既存のまま
壁 ③	吸音石膏板-1' (7)9.5 EP塗り	撤去 軽鉄下地共	PB(7)12.5+9.5 EP塗り
壁 ④	珪藻土珪子押工 EP塗り		EP塗替え
壁 ⑤	珪藻土珪子押工 EP塗り		既存のまま
壁 ⑥	珪藻土珪子押工 EP塗り	撤去	珪藻土珪子押工 EP塗り
巾木 a	ソト巾木 H=100	撤去	ソト巾木 H=100
巾木 b	ソト巾木 H=100		既存のまま



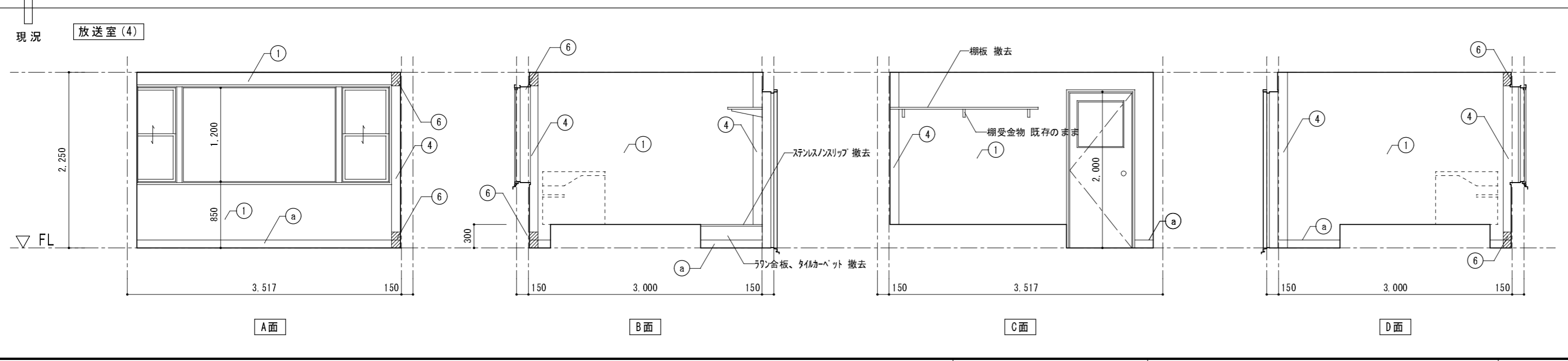
放送室 (3)

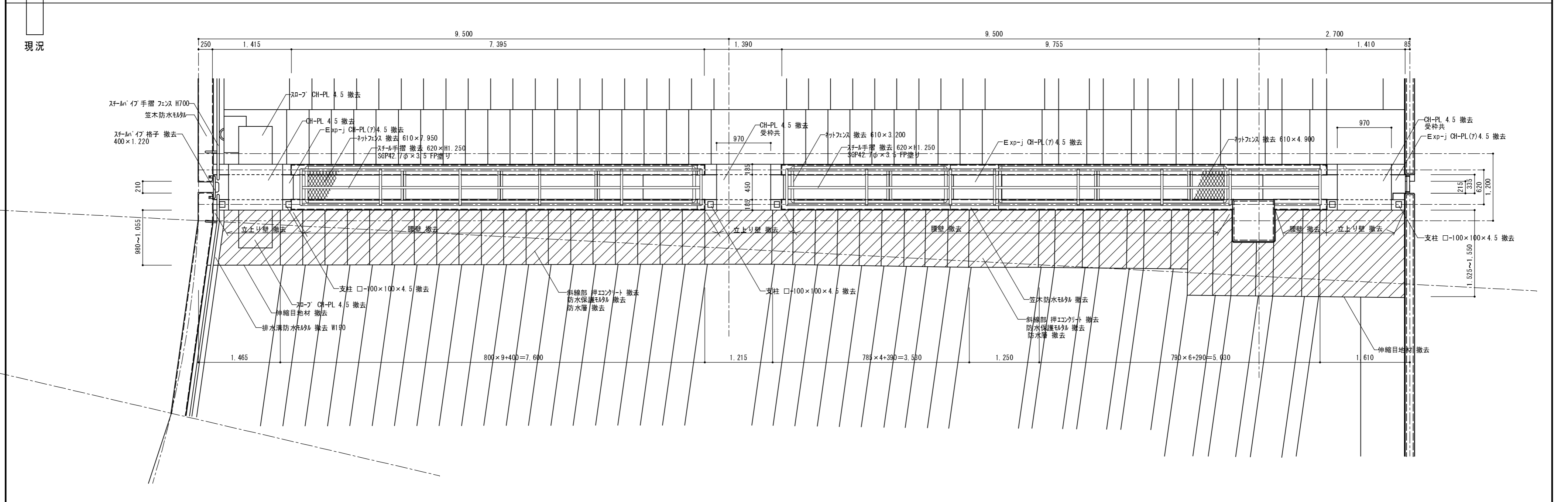
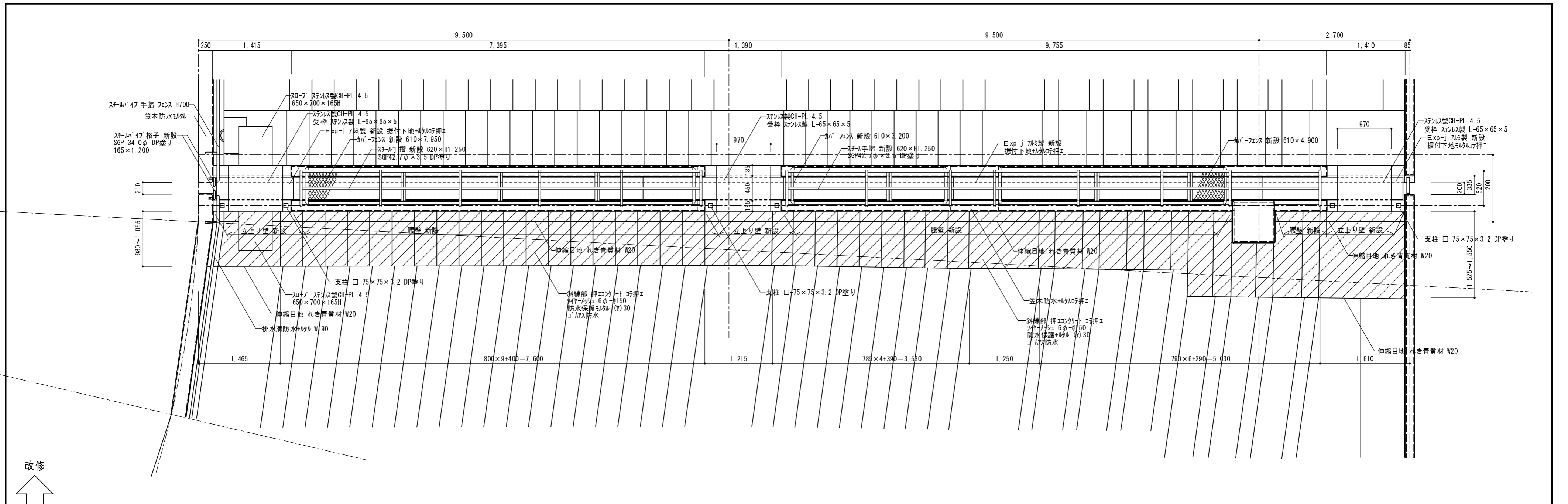
記号	既存仕上	既存処理	改修仕上
壁 ①	吸音石膏ボード (7)9.5 EP塗り	撤去 軽鉄下地共	吸音石膏ボード (7)9.5 EP塗り
壁 ②	吸音石膏ボード (7)9.5 EP塗り		既存のまま
壁 ③	吸音石膏ボード (7)9.5 EP塗り	撤去 軽鉄下地共	PB(7)12.5+9.5 EP塗り
壁 ④	5スチロールボード EP塗り		EP塗替え
壁 ⑤	5スチロールボード EP塗り		既存のまま
壁 ⑥	5スチロールボード EP塗り	撤去	5スチロールボード EP塗り
巾木 (b)	ソト巾木 H=100	撤去	ソト巾木 H=100
巾木 (b)	ソト巾木 H=100		既存のまま




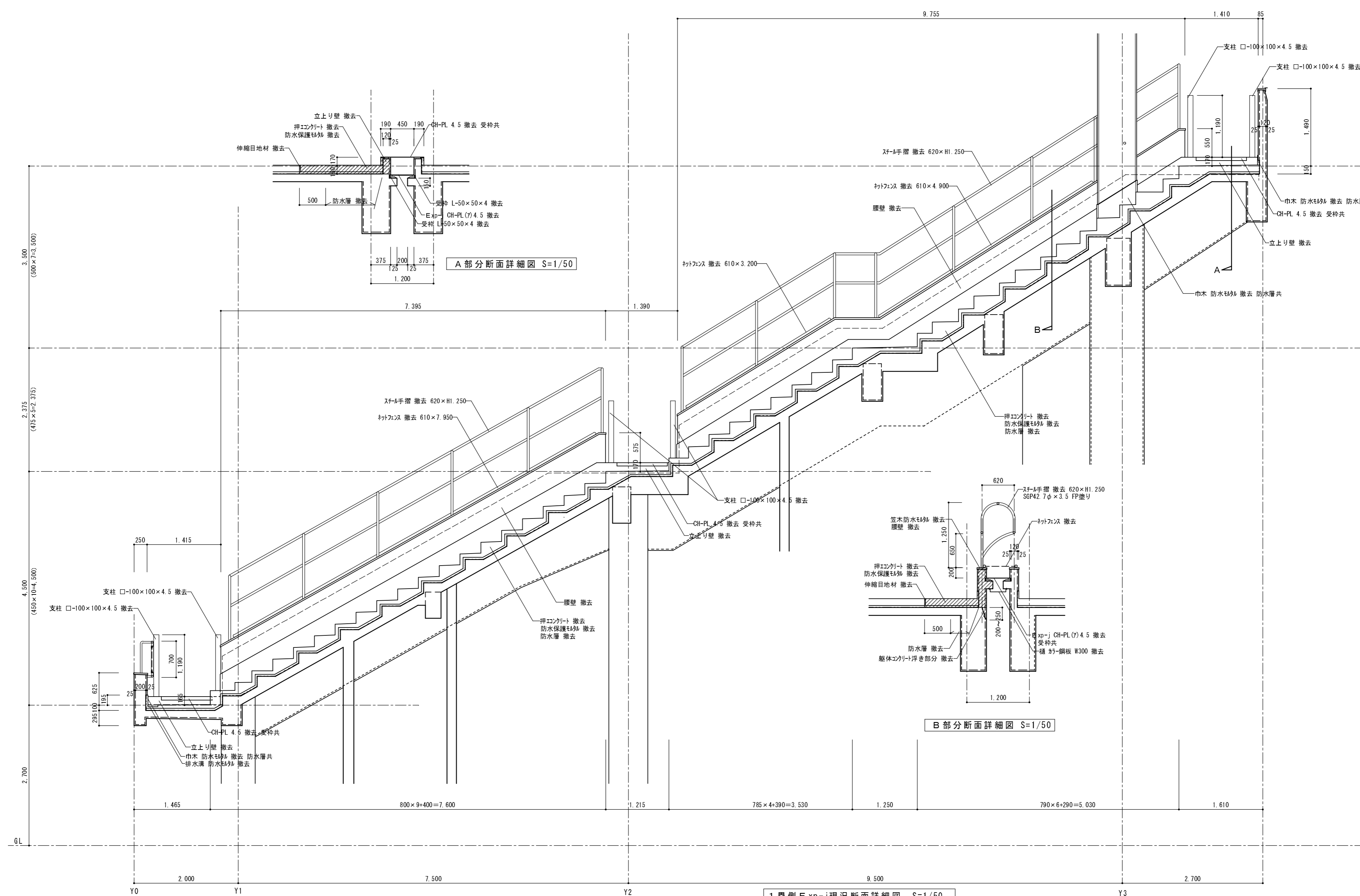
放送室 (4)

記号	既存仕上	既存処理	改修仕上
壁 ①	吸音石膏ボード (7)9.0 EP塗り	撤去 軽鉄下地共	吸音石膏ボード (7)9.5 EP塗り
壁 ②	吸音石膏ボード (7)9.0 EP塗り		既存のまま
壁 ③	吸音石膏ボード (7)9.0 EP塗り	撤去 軽鉄下地共	PB(7)12.5+9.5 EP塗り
壁 ④	5スチロールボード EP塗り		EP塗替え
壁 ⑤	5スチロールボード EP塗り		既存のまま
壁 ⑥	5スチロールボード EP塗り	撤去	5スチロールボード EP塗り
巾木 (b)	ソト巾木 H=100	撤去	ソト巾木 H=100
巾木 (b)	ソト巾木 H=100		既存のまま





	●工事名 R2営繕 蔵本公園 徳・庄町1 野球場本館棟耐震改修他工事 ●図面名 1 壁側Exp-j現況改修平面詳細図	●図面番号 A-28 ●縮尺 1:50	(株) 榎野一級建築設計事務所 榎野 清 徳島市川内町榎瀬久木821 TEL 088-665-0644 FAX 088-665-5626	R02-3 
--	---	------------------------------	---	--



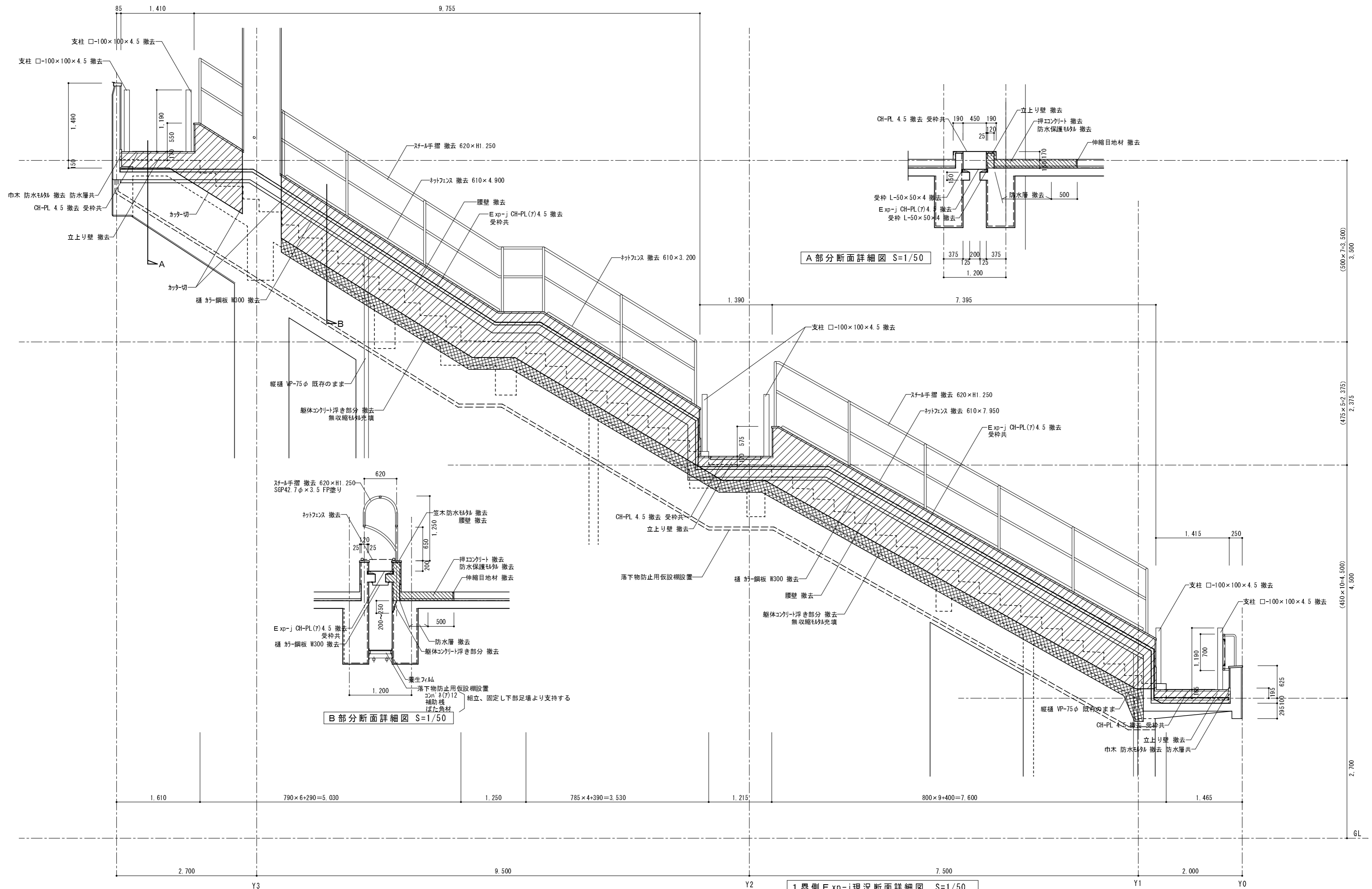
A部分断面詳細図 S=1/50

B部分断面詳細図 S=1/50

1 塁側 Exp-j 現況断面詳細図 S=1/50  
3 塁側はこれに順ずる

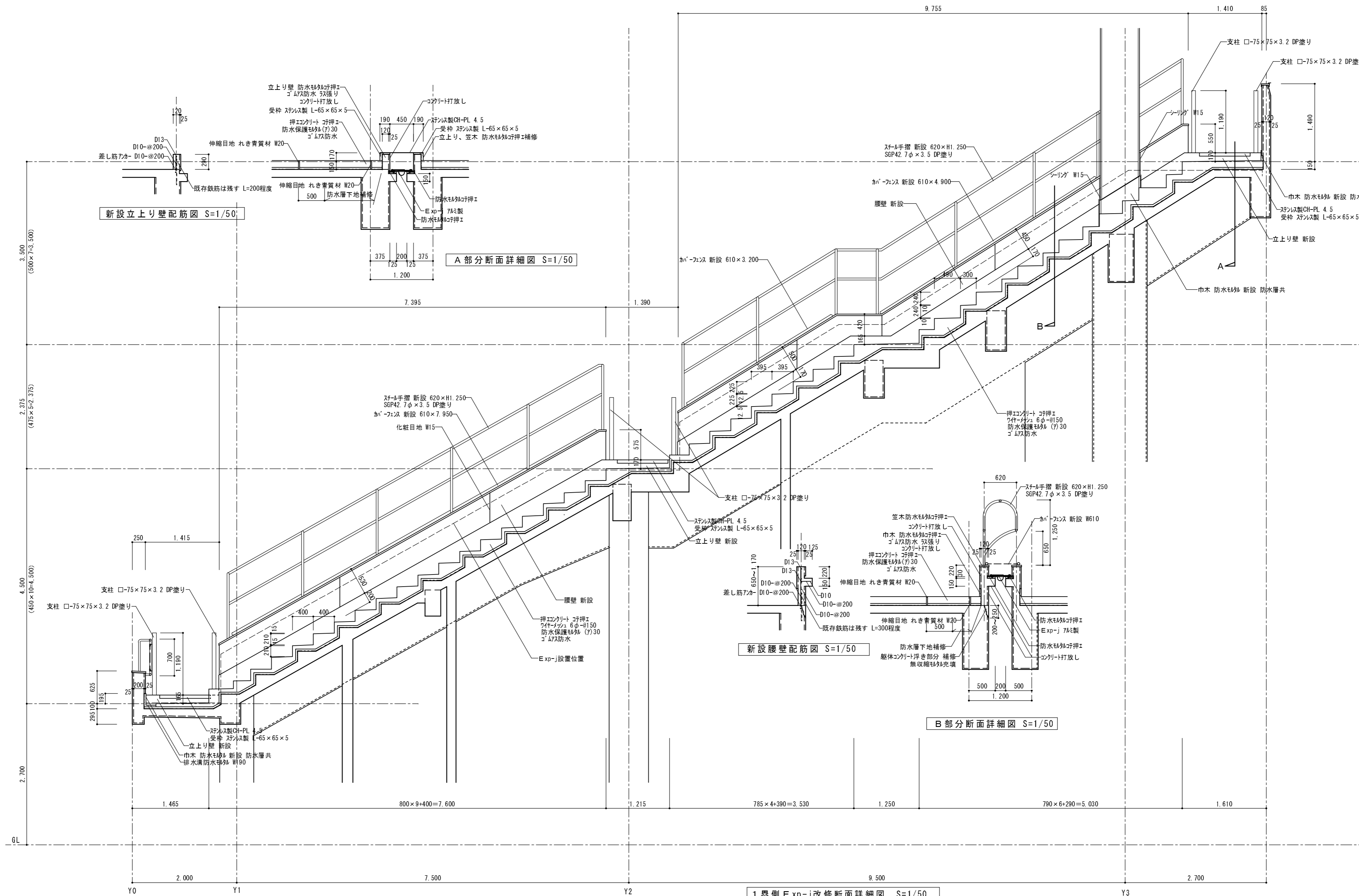
徳島県県土整備部営繕課	●工事名 R2 営繕 蔵本公園 徳・庄町1 野球場本館棟耐震改修他工事	●図面番号 A-29	(株) 榎野一級建築設計事務所 榎野 清 徳島市川内町榎瀬久木 8 2 1 TEL 088-665-0644 FAX 088-665-5626	R02-3
	●図面名 1 塁側 Exp-j 現況断面詳細図 A	●縮尺 1:50		





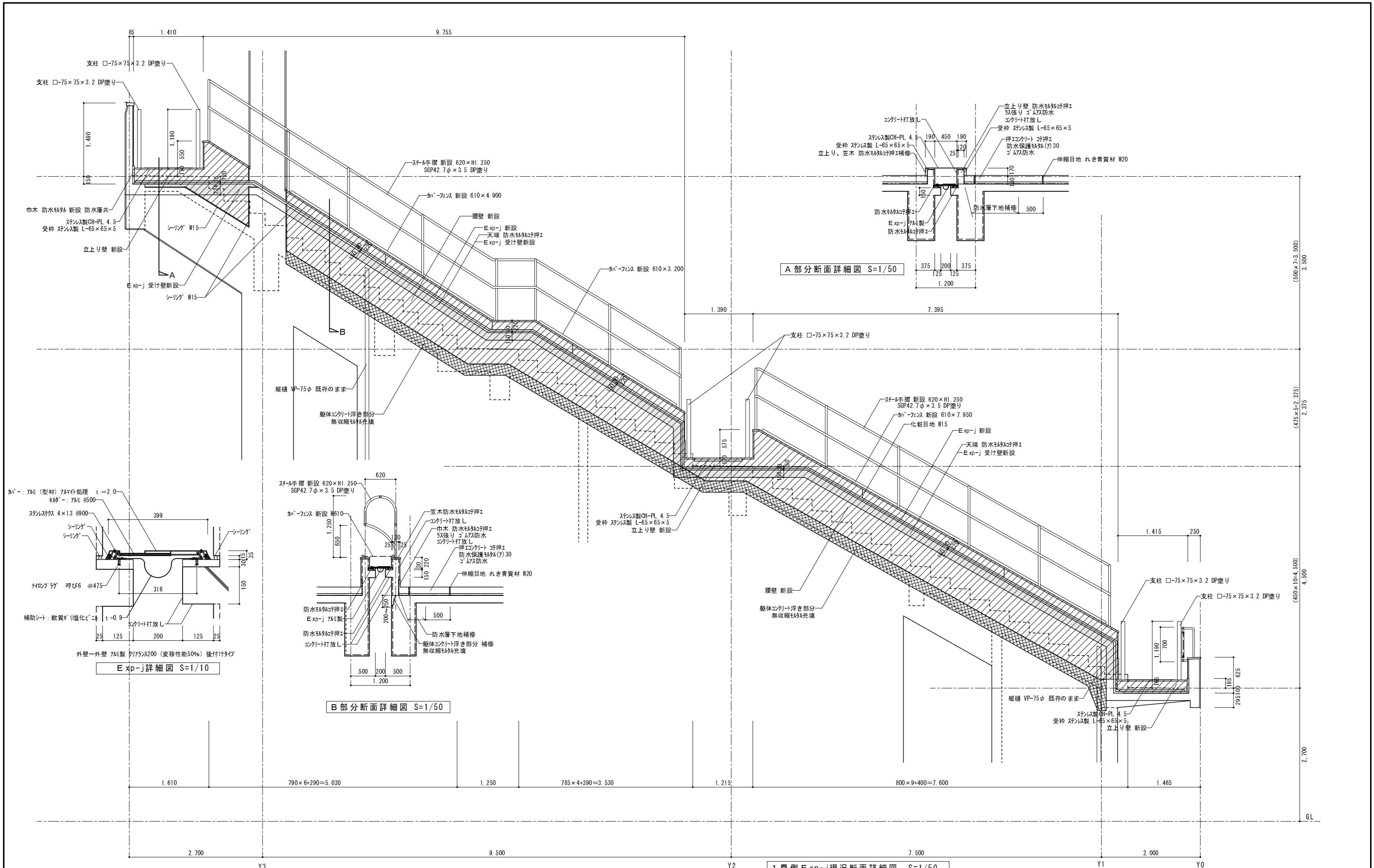
1 墨側 E xp-j 現況断面詳細図 S=1/50  
3 墨側はこれに順ずる

徳島県土整備部営繕課	●工事名 R2 営繕 蔵本公園 徳・庄町1 野球場本館棟耐震改修他工事	●図面番号 A-30	(株) 槇野一級建築設計事務所 槇野 清 徳島市川内町榎瀬久木821 TEL 088-665-0644 FAX 088-665-5626	R02-3
	●図面名 1 墨側 E xp-j 現況断面詳細図 B	●縮尺 1:50		



徳島県土整備部営繕課	●工事名 R2 営繕 蔵本公園 徳・庄町1 野球場本館棟耐震改修他工事	●図面番号 A-31	(株) 槇野一級建築設計事務所 槇野 清 徳島市川内町榎瀬久木 8 2 1 TEL 088-665-0644 FAX 088-665-5626	R02-3
	●図面名 1 1階側 E xp-j改修断面詳細図 A	●縮尺 1:50 1/10		

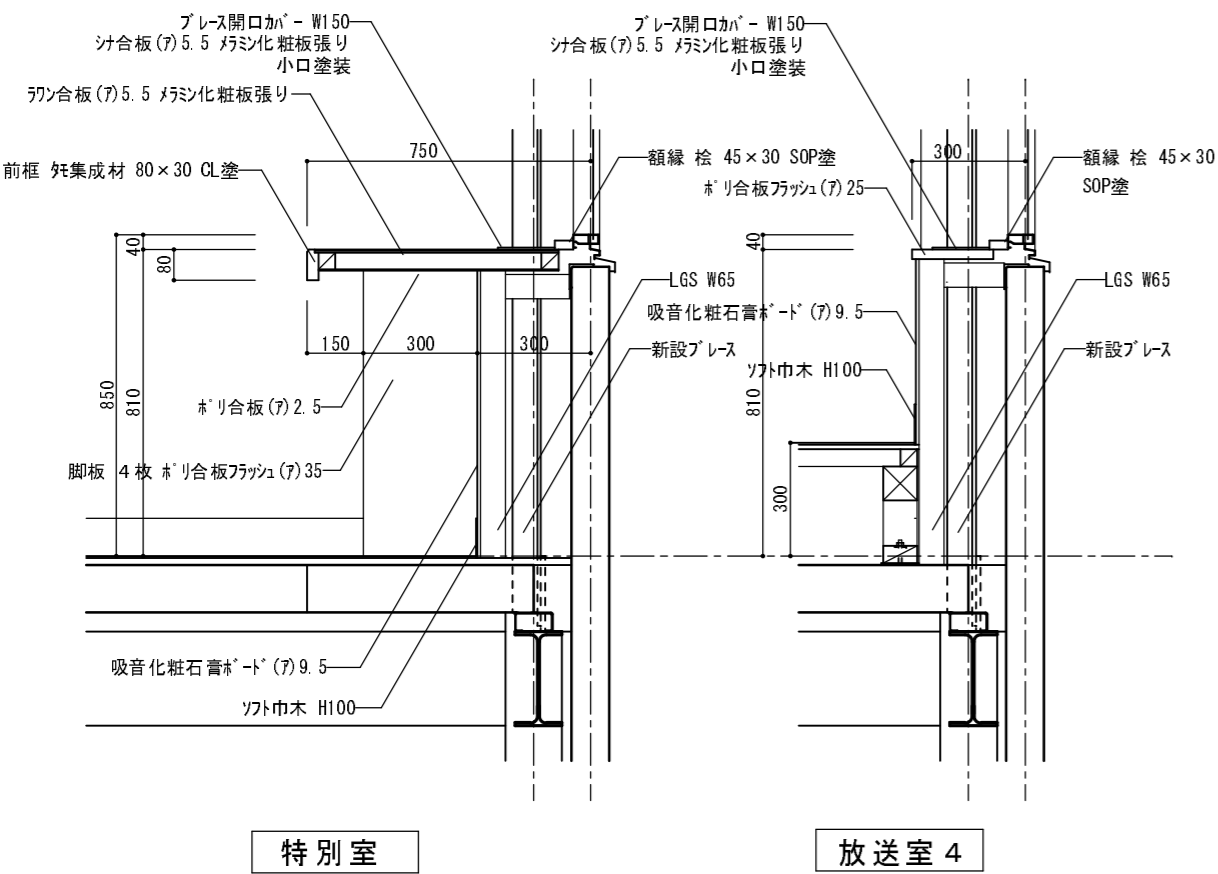




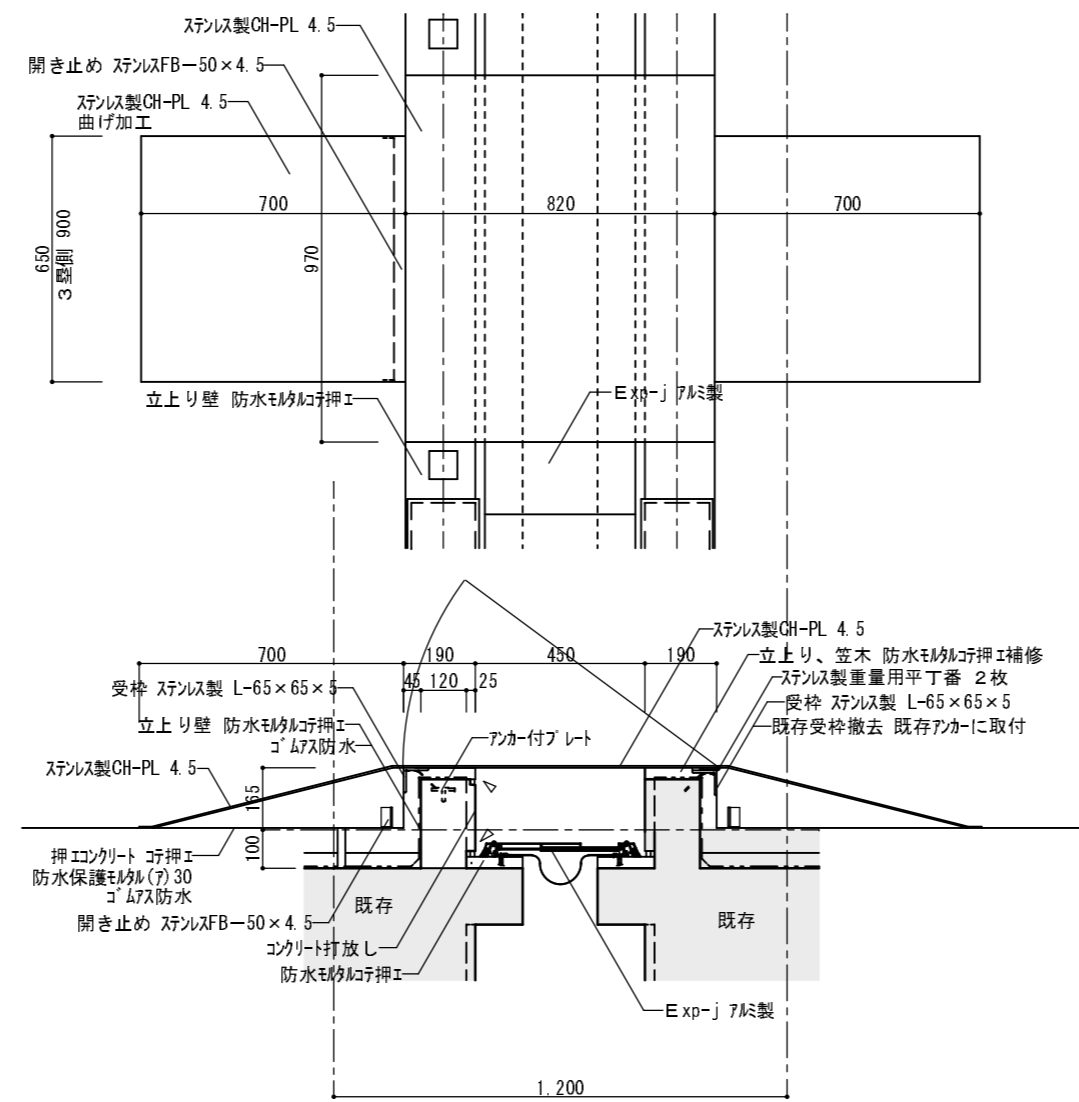
1 壘側 E xp-j 現況断面詳細図 S=1/50  
3 壘側はこれに順ずる

徳島県土木整備部営繕課	● 工事名	R2 営繕 蔵本公園 徳・庄町1 野球場本館棟耐震改修他工事	● 図面番号	A-32	(株) 植野一級建築設計事務所 植野 清 徳島市川内町榎瀬久木821 TEL 088-665-0644 FAX 088-665-5626	R02-3
	● 図面名	1 壘側 E xp-j 改修断面詳細図 B	● 縮尺	1:50		

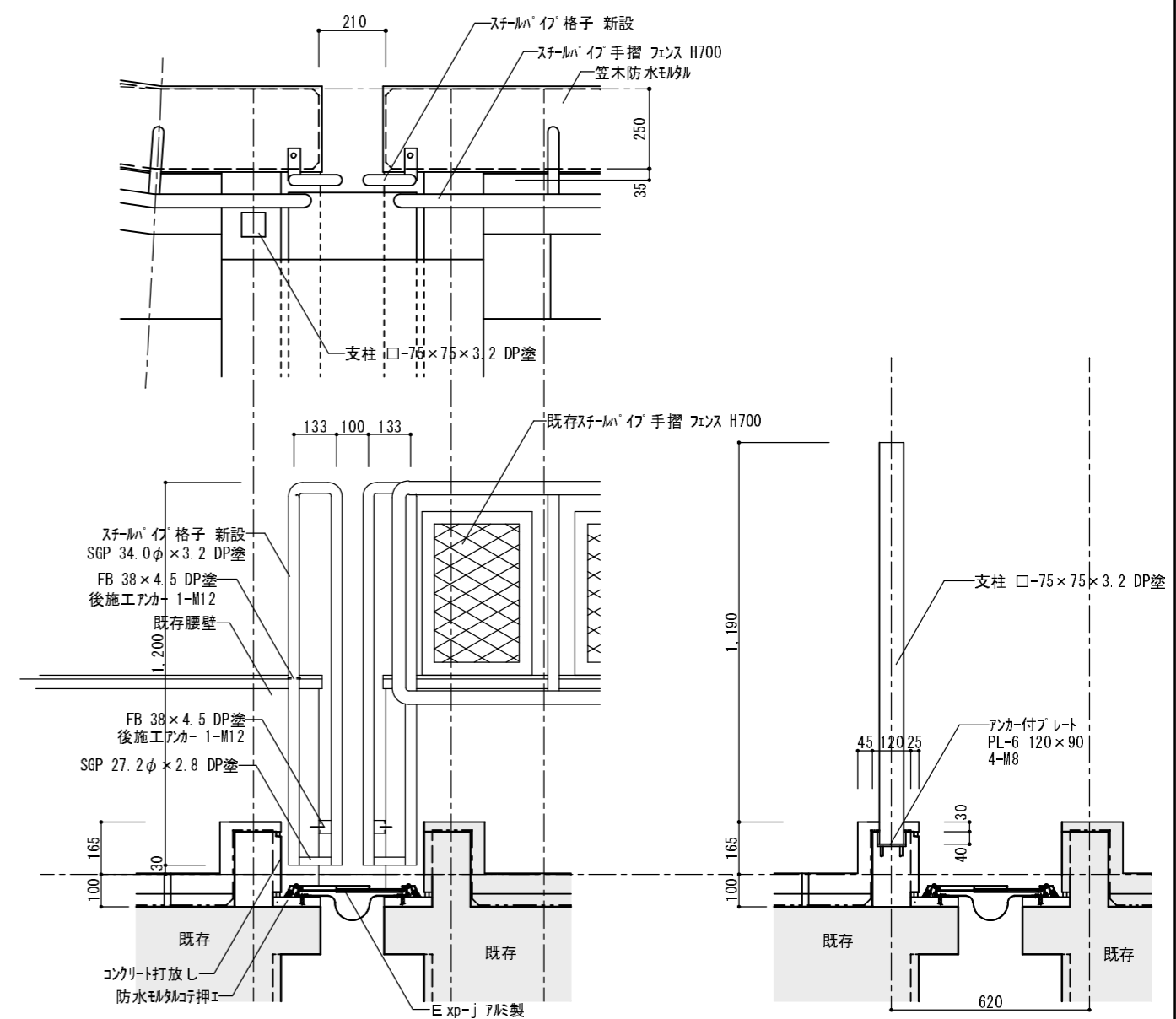
D-011 テーブル 膳板 1/20



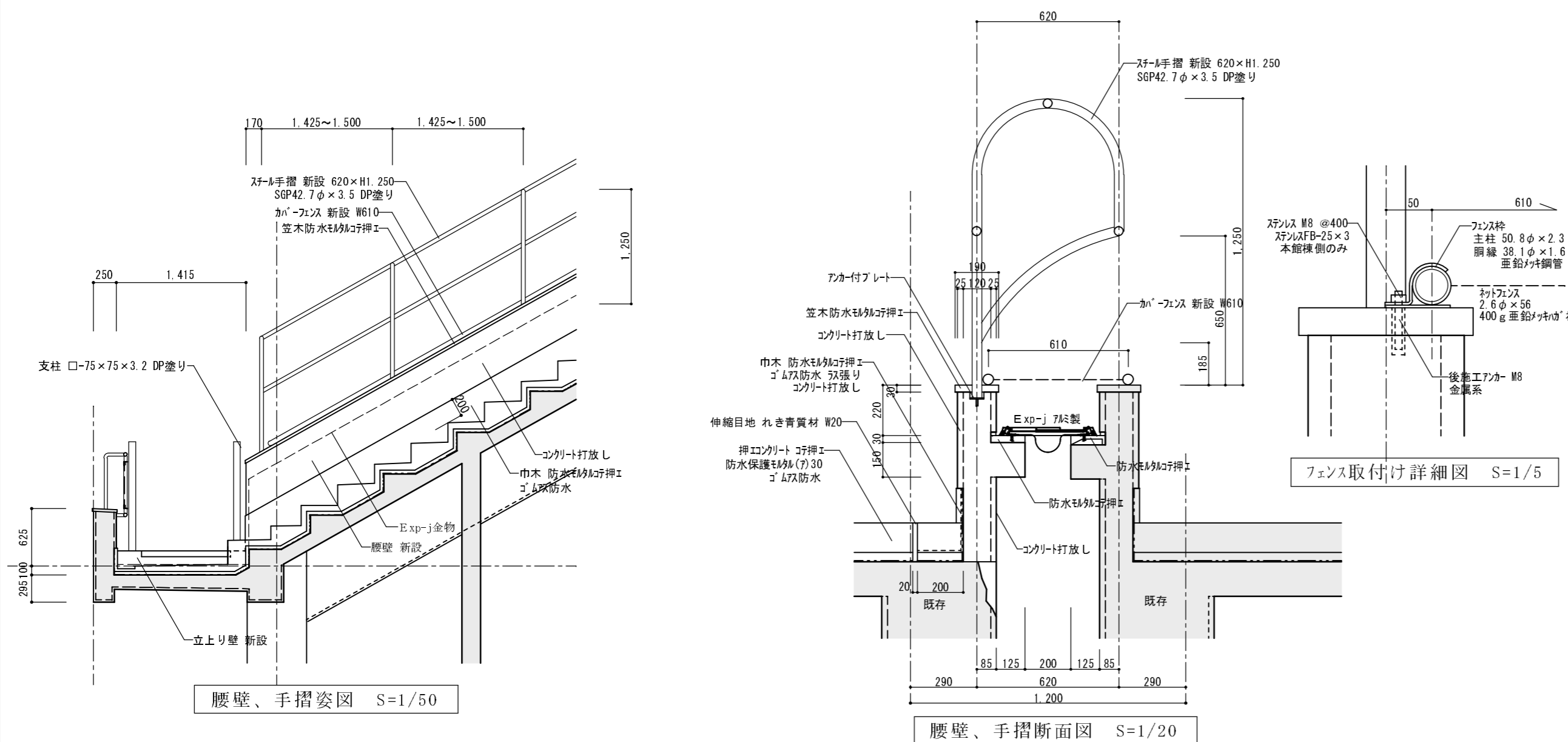
D-012 ステンレス製カバープレート スローププレート 1/20



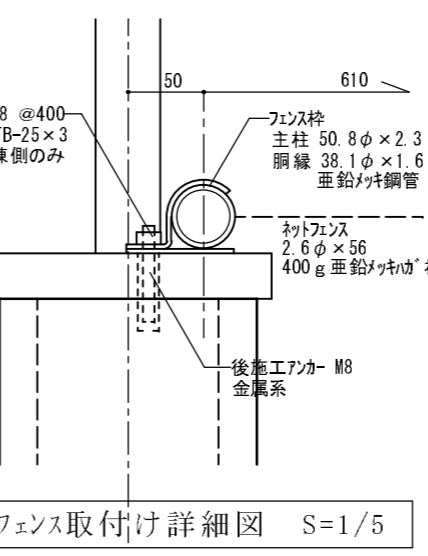
D-013 スチールパイプ格子 支柱 1/20



D-014 手摺 カバーフェンス 1/50 1/20 1/5

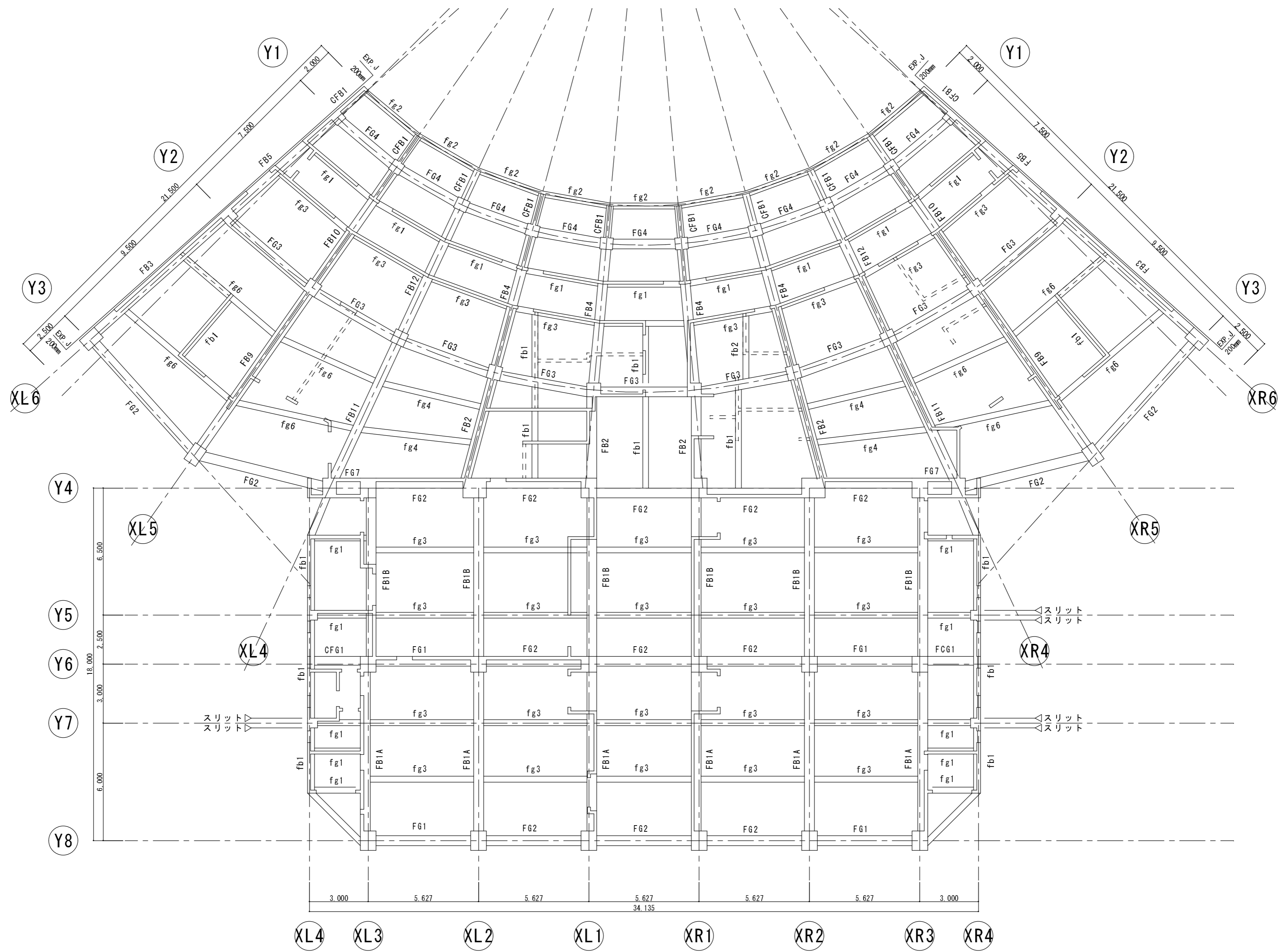


D-015




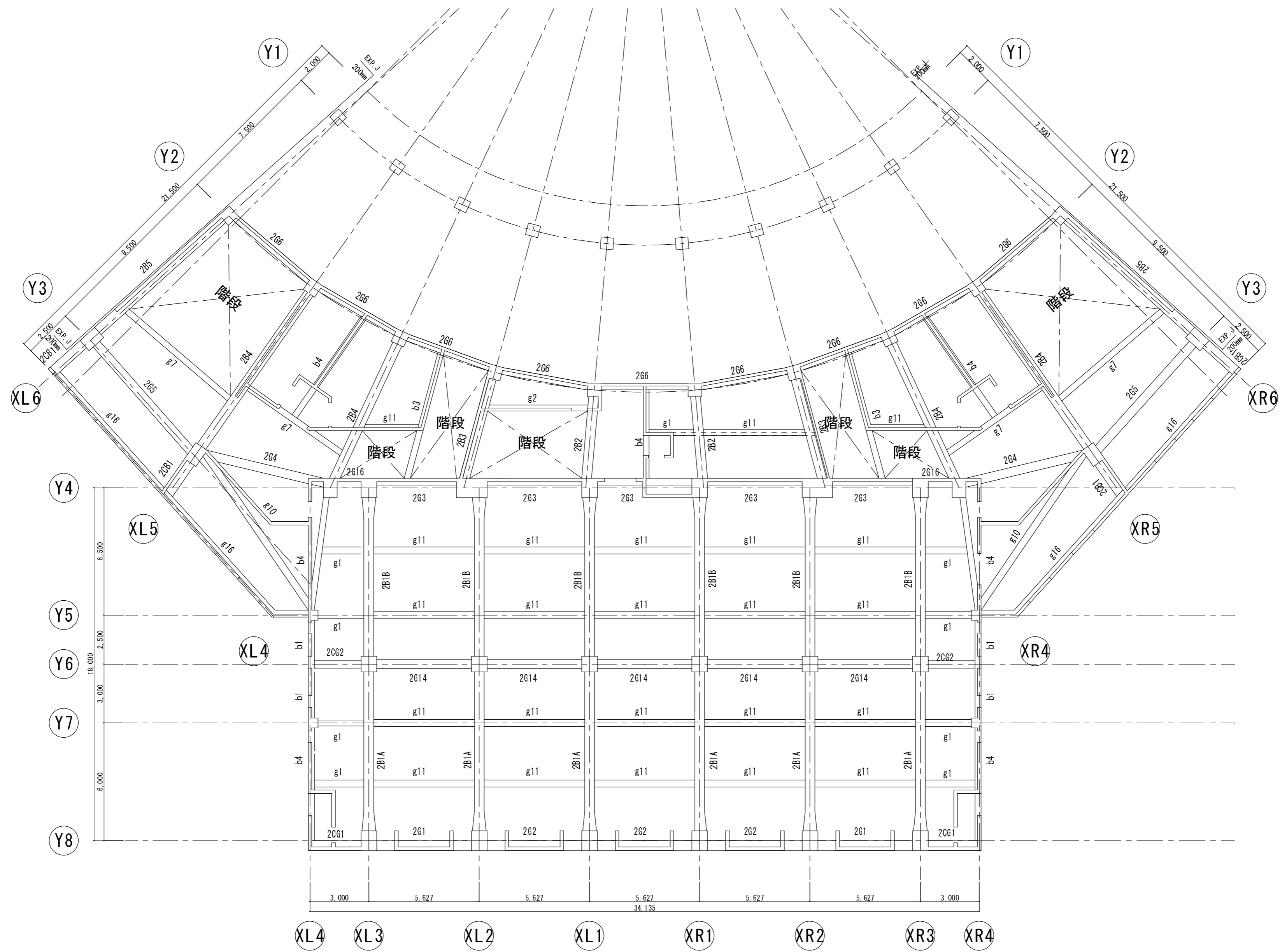
フェンス取付け詳細図 S=1/5






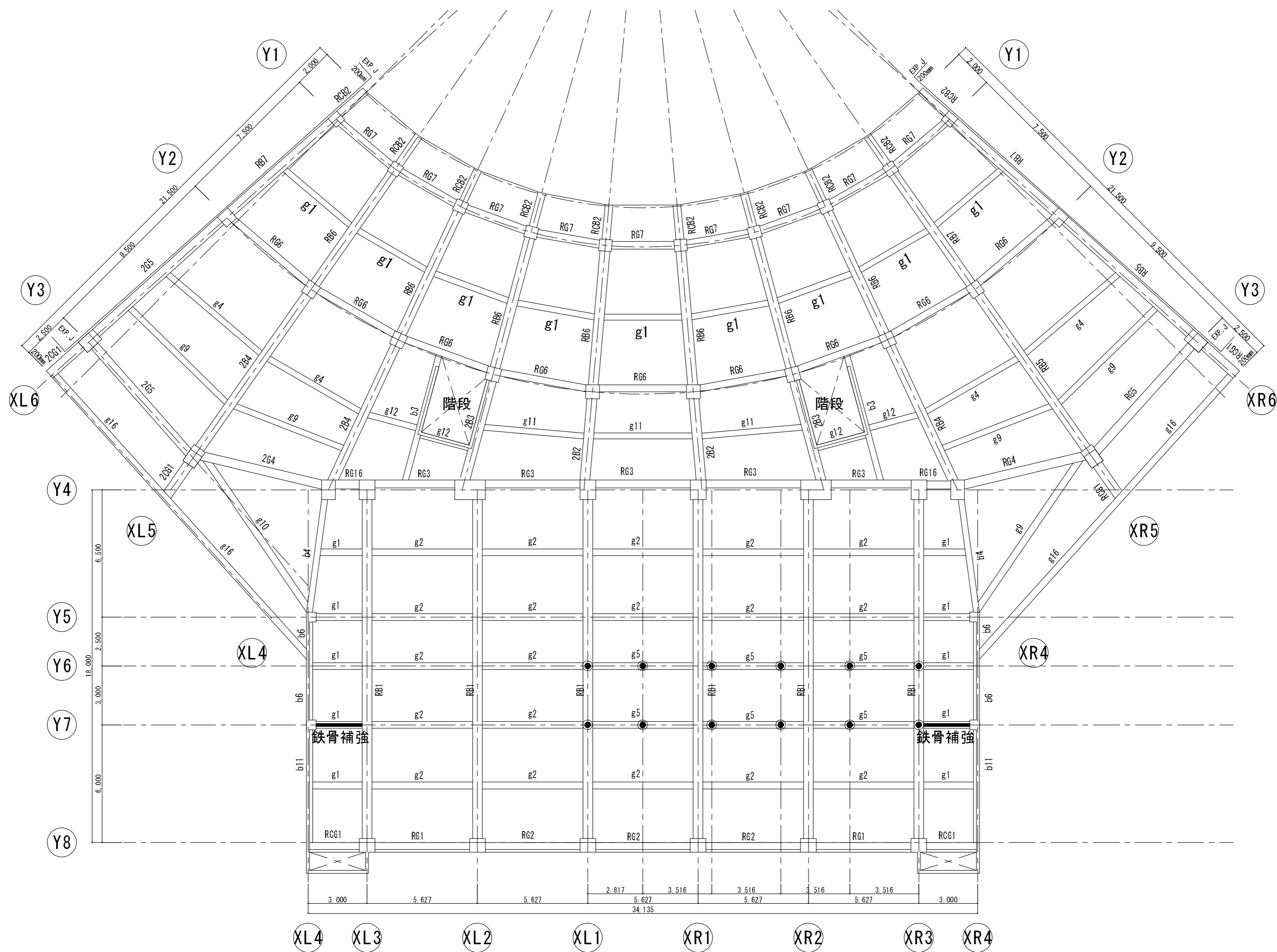
1階伏図 1/150

徳島県土整備部営繕課 ●工事名 R2営繕 蔵本公園 徳・庄町1 野球場本館棟耐震改修他工事 ●図面名 1階伏図	●図面番号 K-01 ●縮尺 1:150	(株) 榎野一級建築設計事務所 榎野 清 徳島市川内町榎瀬久木821 TEL 088-665-0644 FAX 088-665-5626	R02-3 
--	-------------------------	--	--



2階伏図 1/150

徳島県土木整備部営繕課 徳島市川内町榎瀬久木821	●工事名 R2営繕 蔵本公園 徳・庄町1 野球場本館棟耐震改修他工事 ●図面名 2階伏図	●図面番号 K-02 ●縮尺 1:150	(株)榎野一級建築設計事務所 榎野 清 徳島市川内町榎瀬久木821 TEL 088-665-0644 FAX 088-665-5626	R02-3 
------------------------------	--	-------------------------	---	--

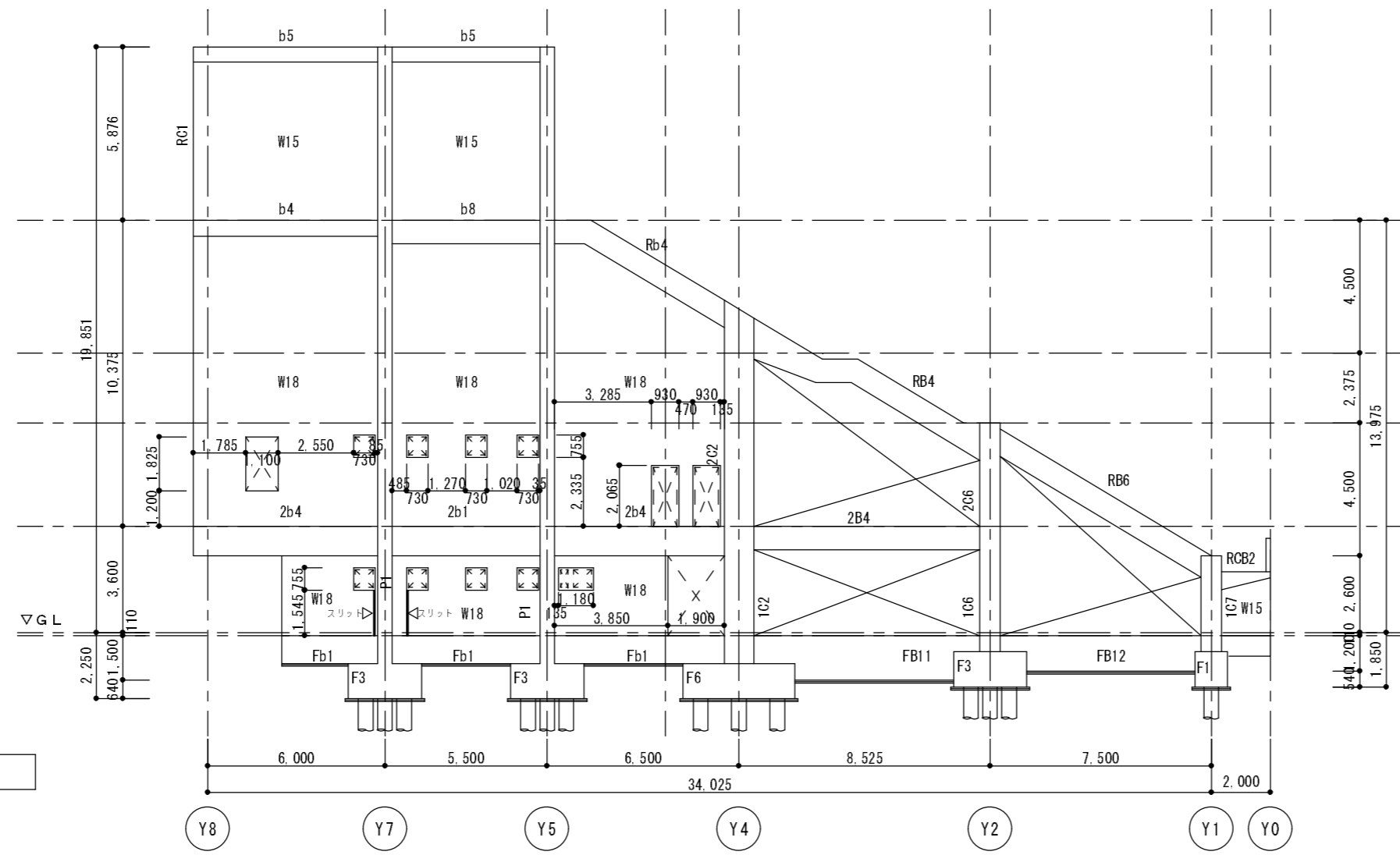


R階伏図 1/150

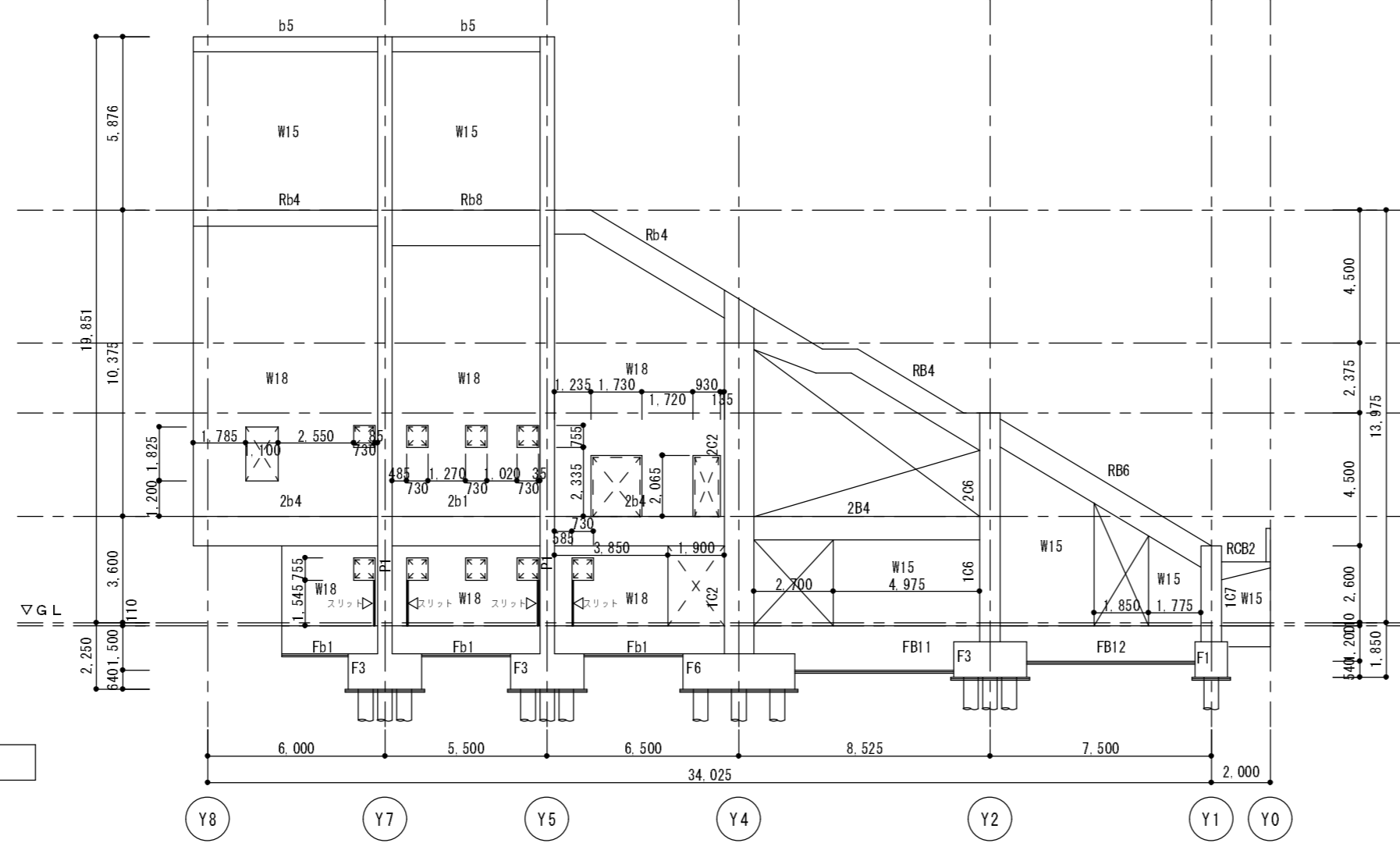
● 放送室柱位置を示す。放送室は別図参照。

徳島県土整備部営繕課	● 工事名 R2 営繕 蔵本公園 徳・庄町1 野球場本館棟耐震改修他工事	● 図面番号 K-03	(株) 榎野一級建築設計事務所 榎野 清 徳島市川内町榎瀬久木821 TEL 088-665-0644 FAX 088-665-5626	R02-3
	● 図面名 R階伏図	● 縮尺 1:150		

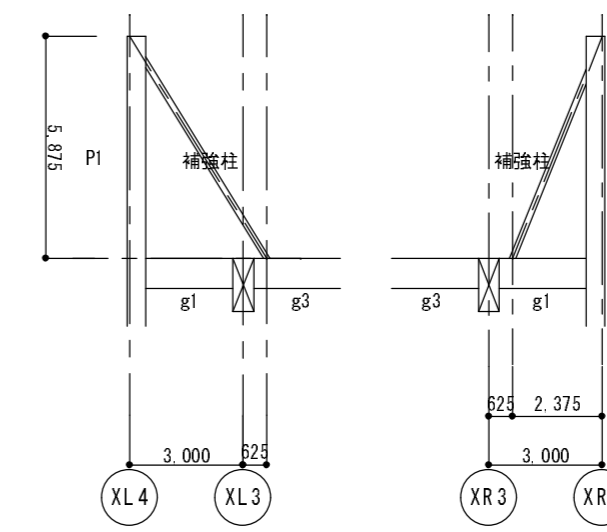




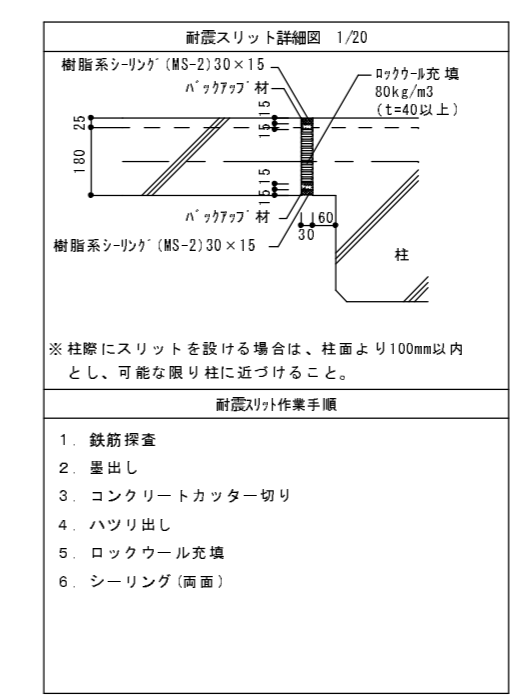
XL4軸組図 1/200



XR4軸組図 1/200



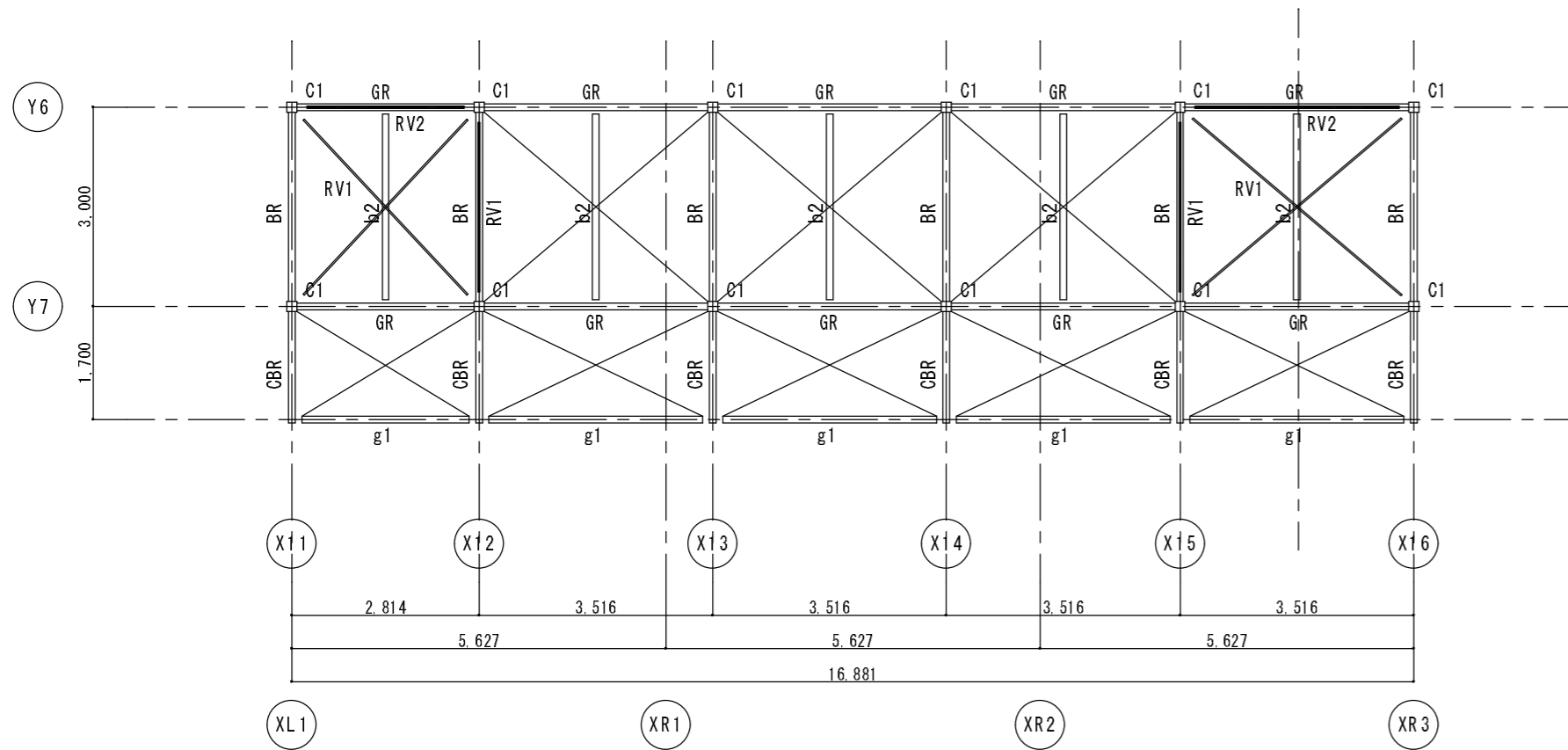
Y7軸組図 1/200



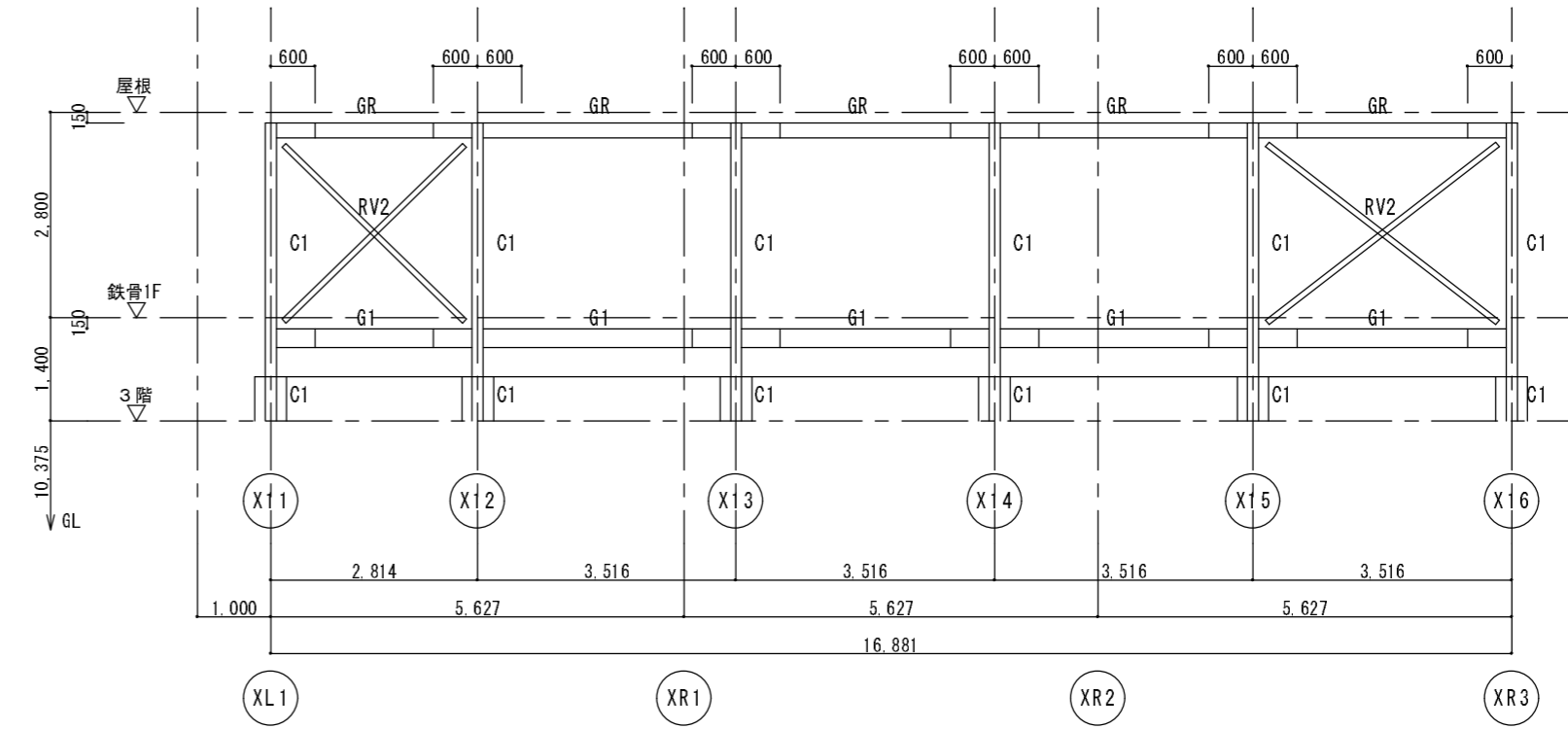
※柱際にスリットを設ける場合は、柱面より100mm以内とし、可能な限り柱に近づけること。

耐震スリット作業手順

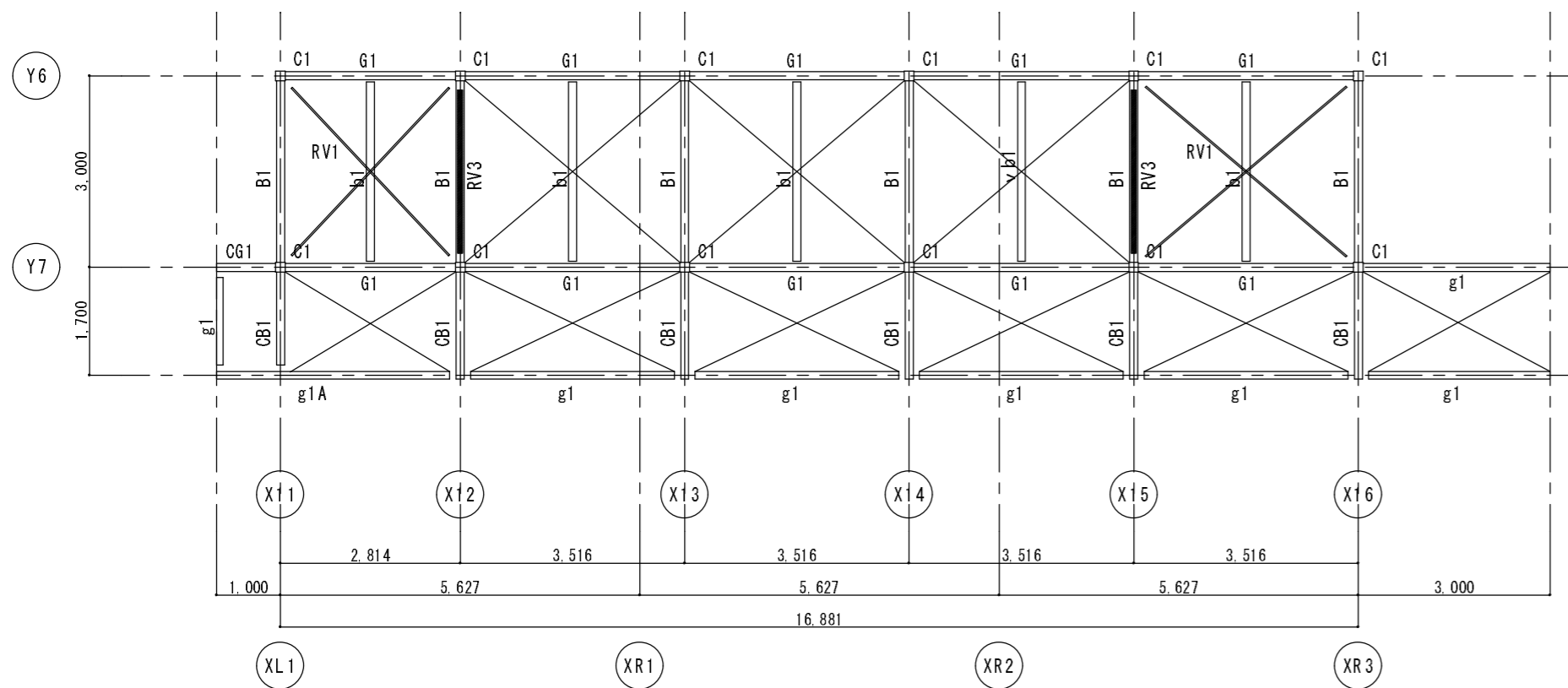
1. 鉄筋探査
2. 差出し
3. コンクリートカッター切り
4. ハツリ出し
5. ロックウール充填
6. シーリング (裏面)



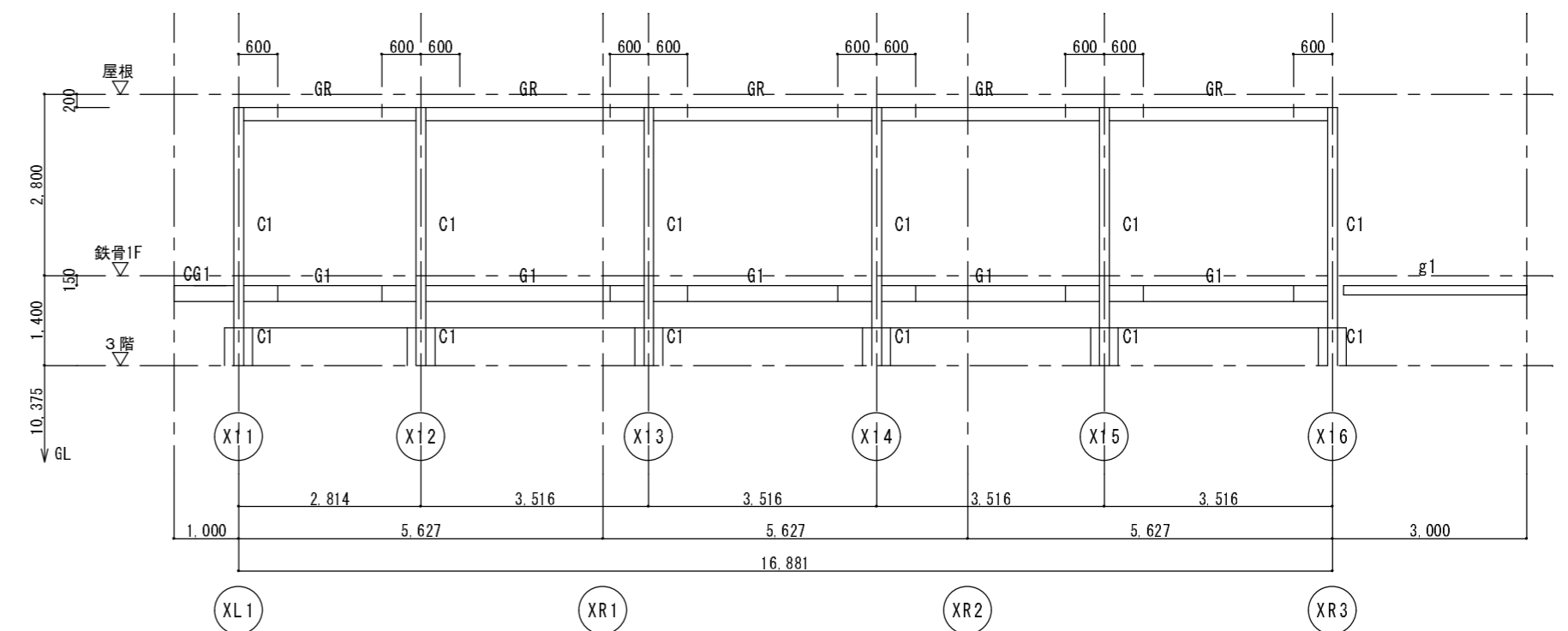
鉄骨屋根梁伏図 1/100



Y6通軸組図 1/100

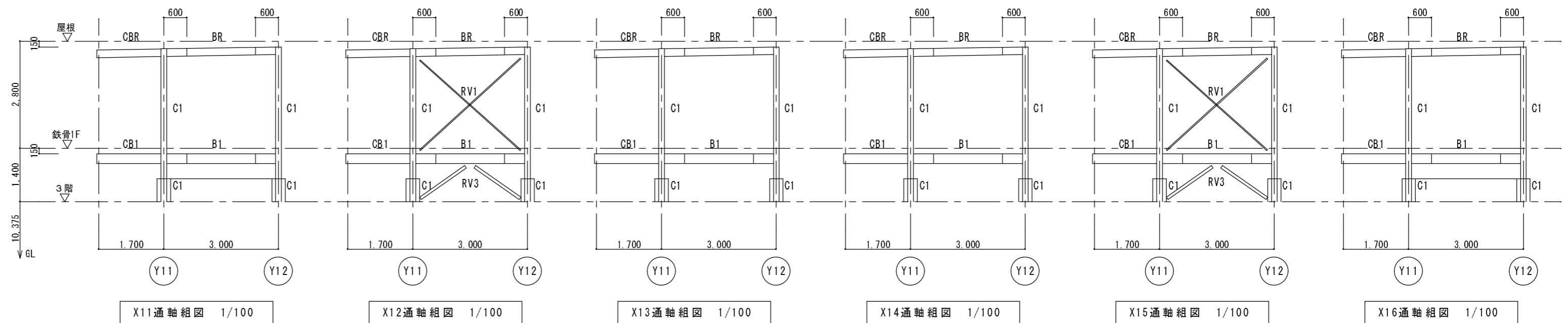


鉄骨1F床梁伏図 1/100



Y7通軸組図 1/100

部材リスト	
GR・BR・CGR・CBR	H-200x100x5.5x8
G1・B1・CG1・CB1	H-250x125x6x9
b1	H-200x100x5.5x8
b2・g1	H-150x75x5x7
C1	□-150x150x6
Rf屋根プレート	1-13Φ
1F床プレート	1-16Φ
g1A	H-250x125x6x9



X11通軸組図 1/100

X12通軸組図 1/100

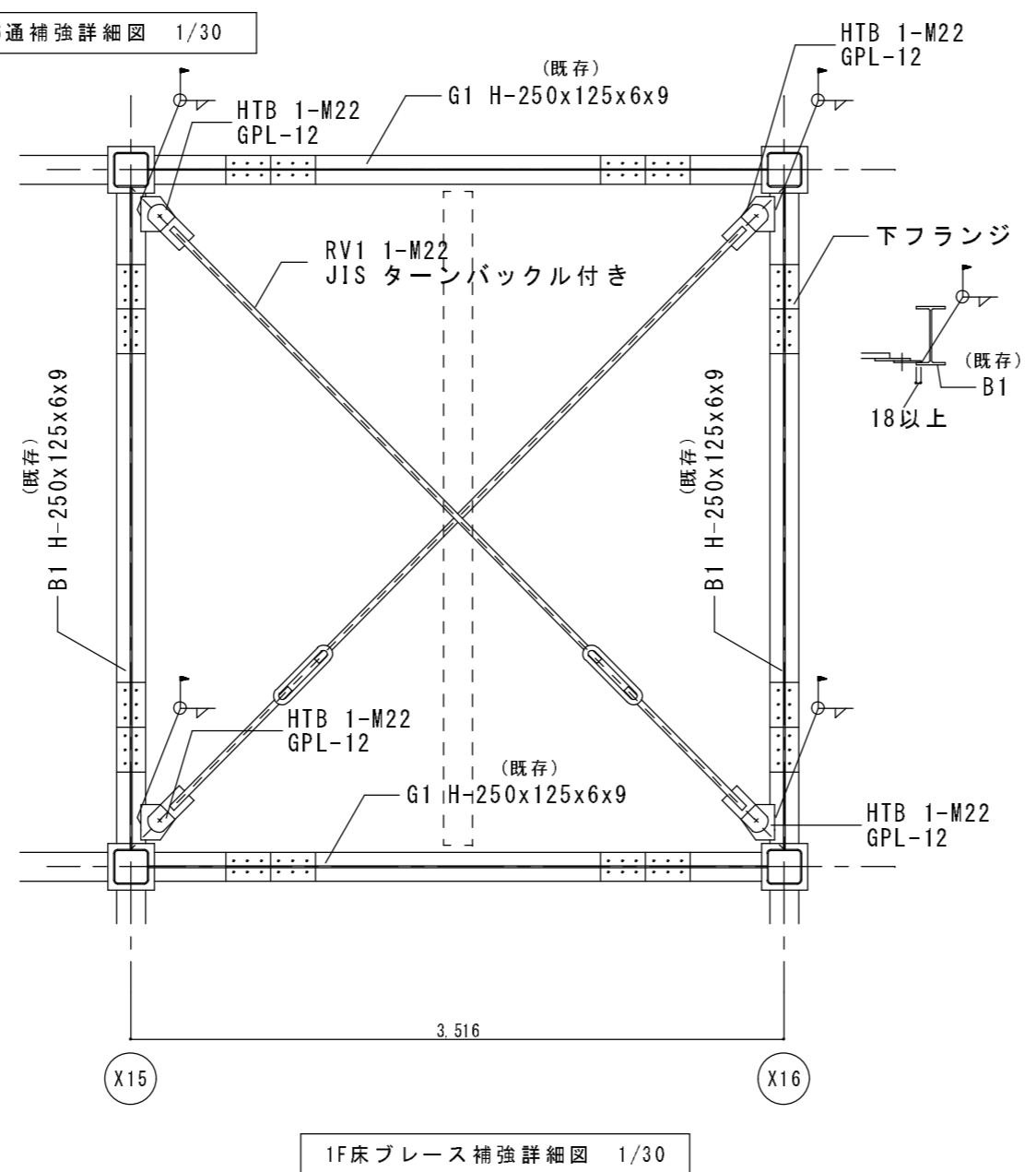
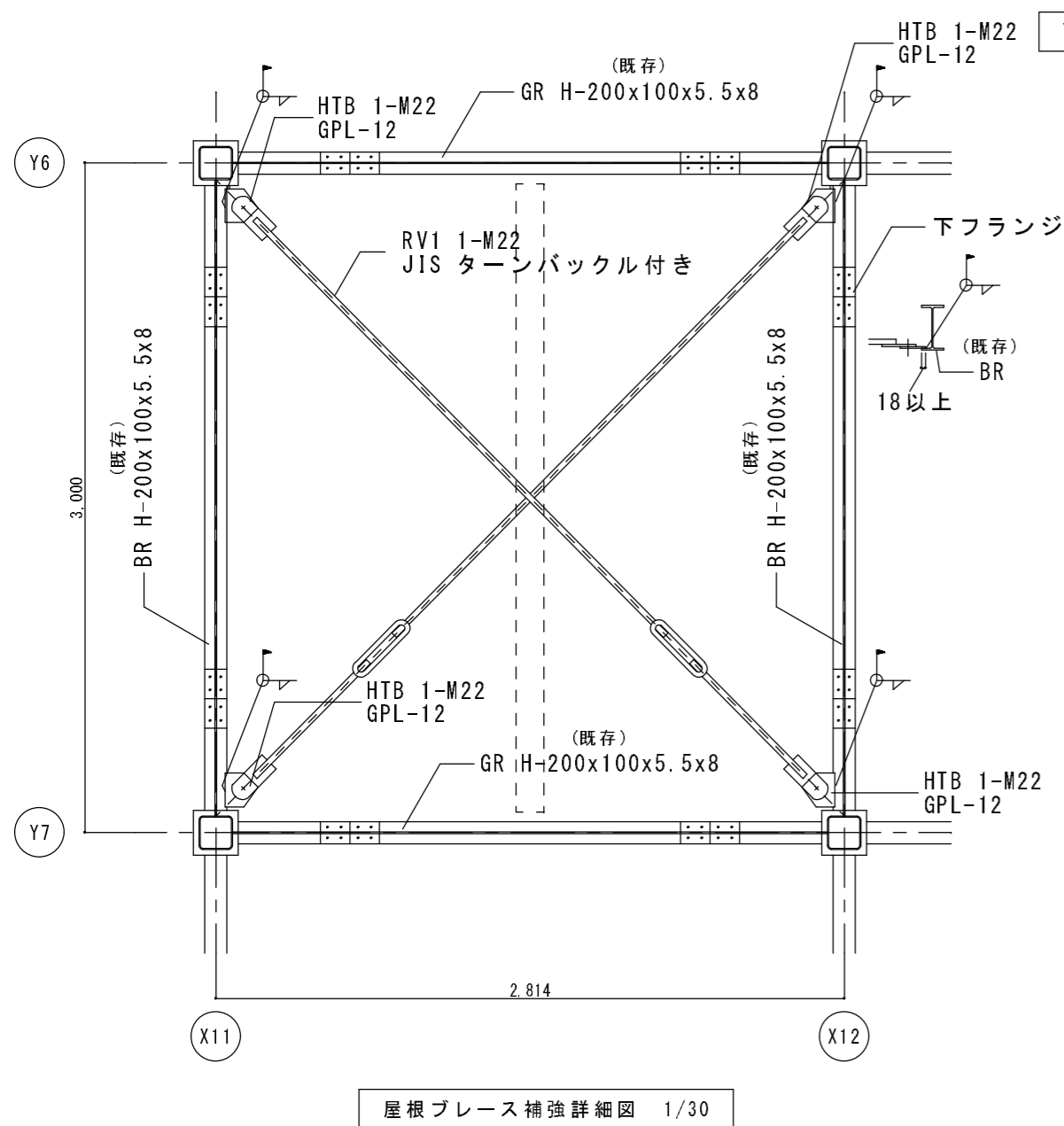
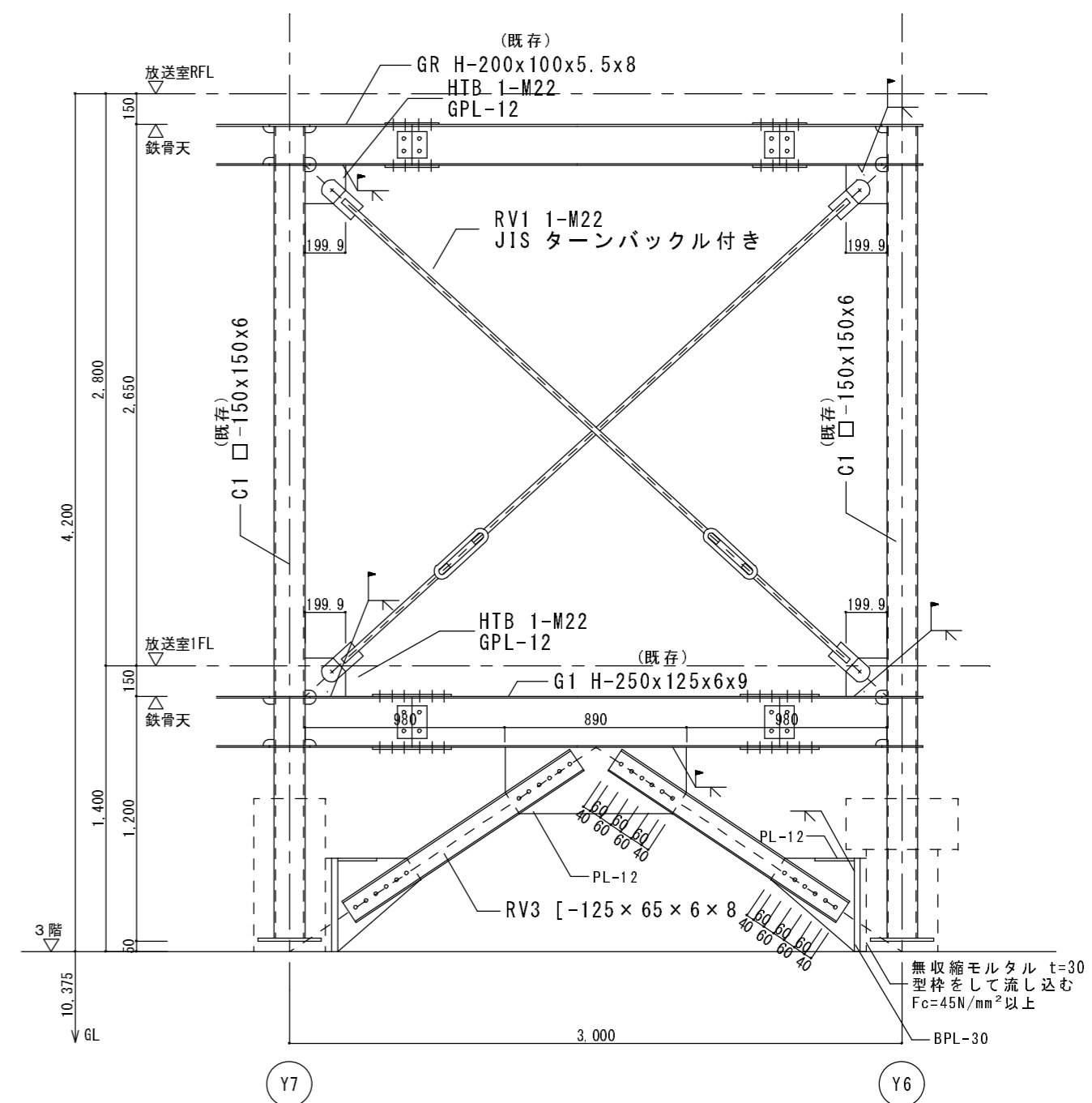
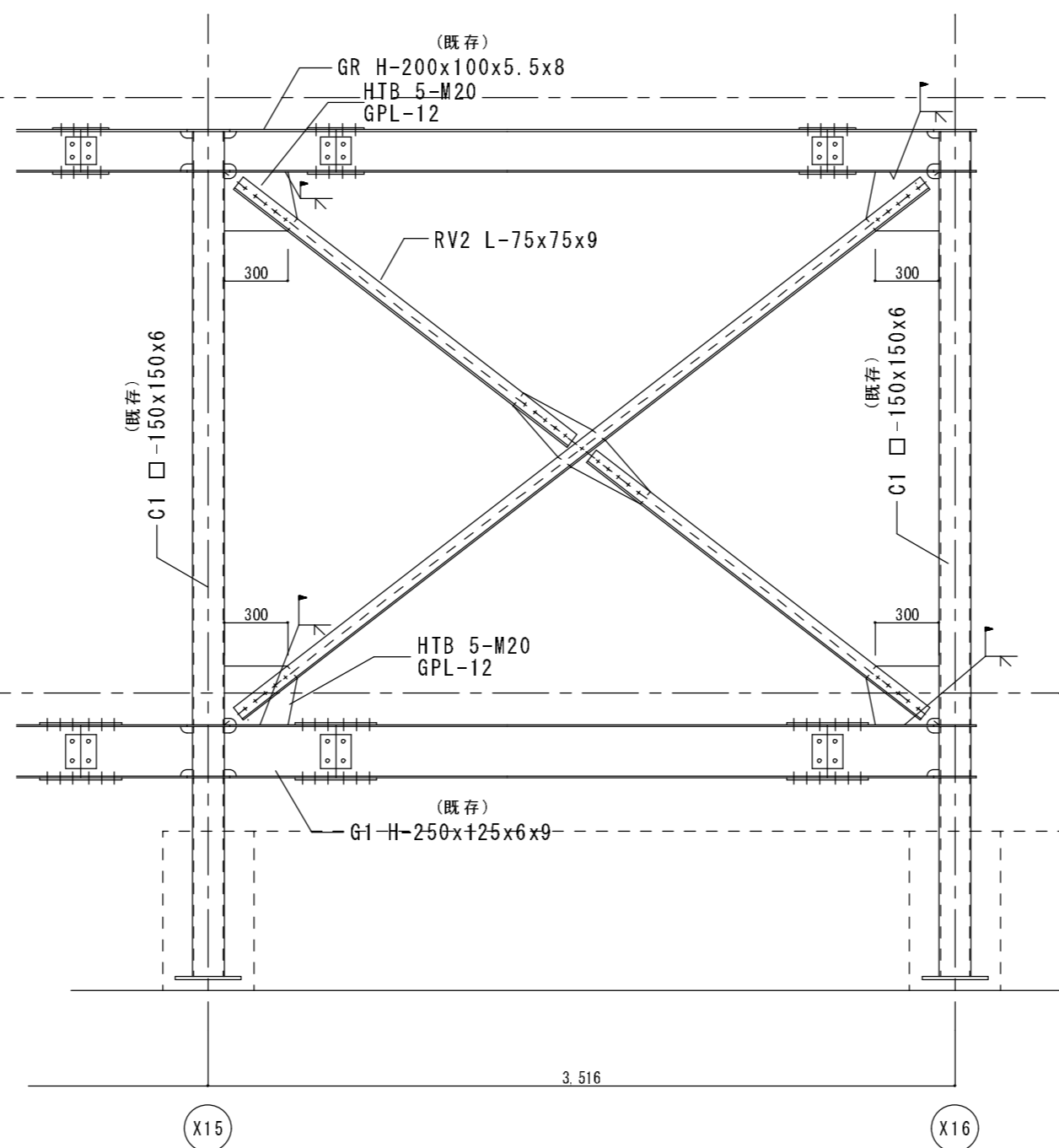
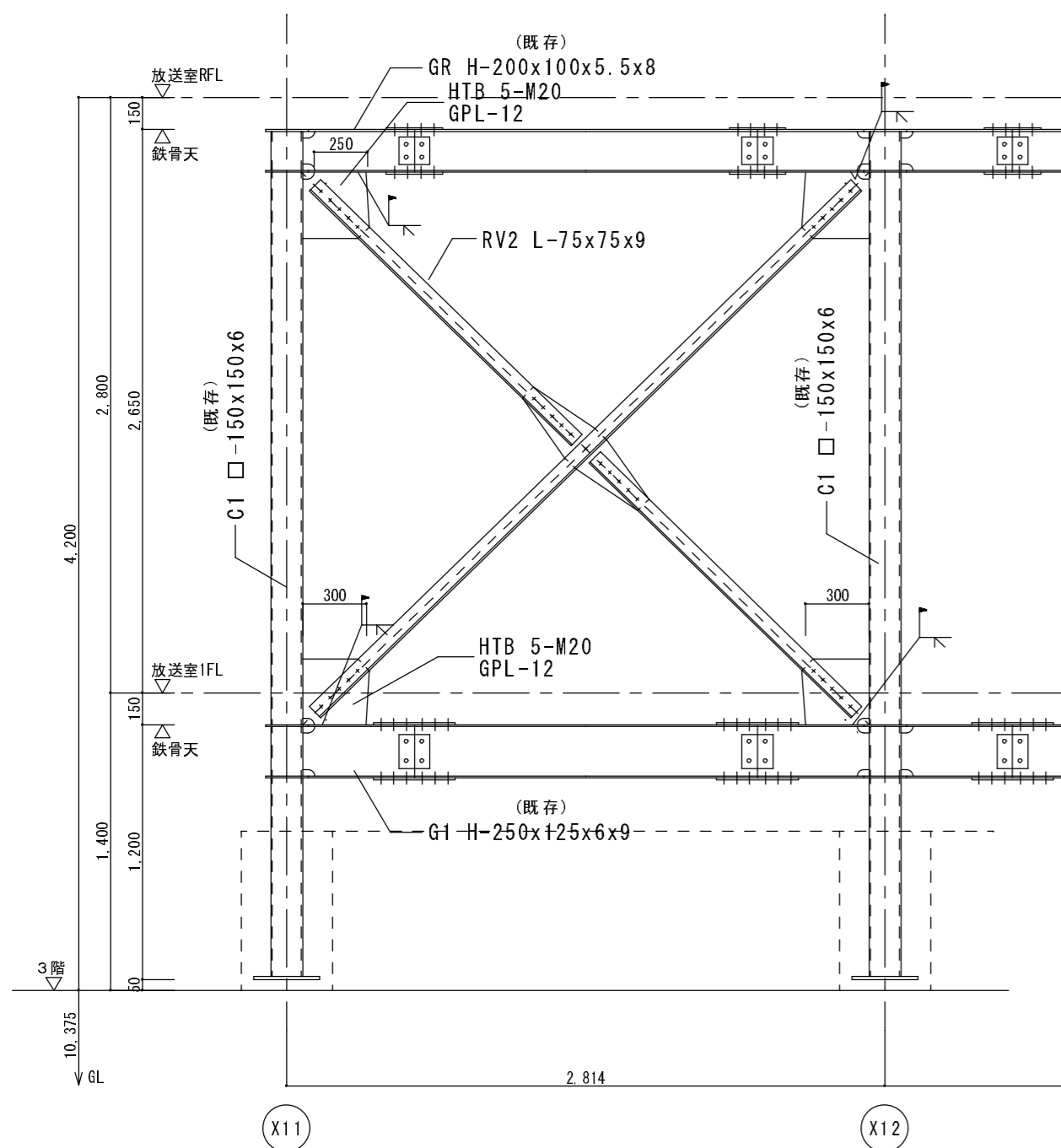
X13通軸組図 1/100

X14通軸組図 1/100

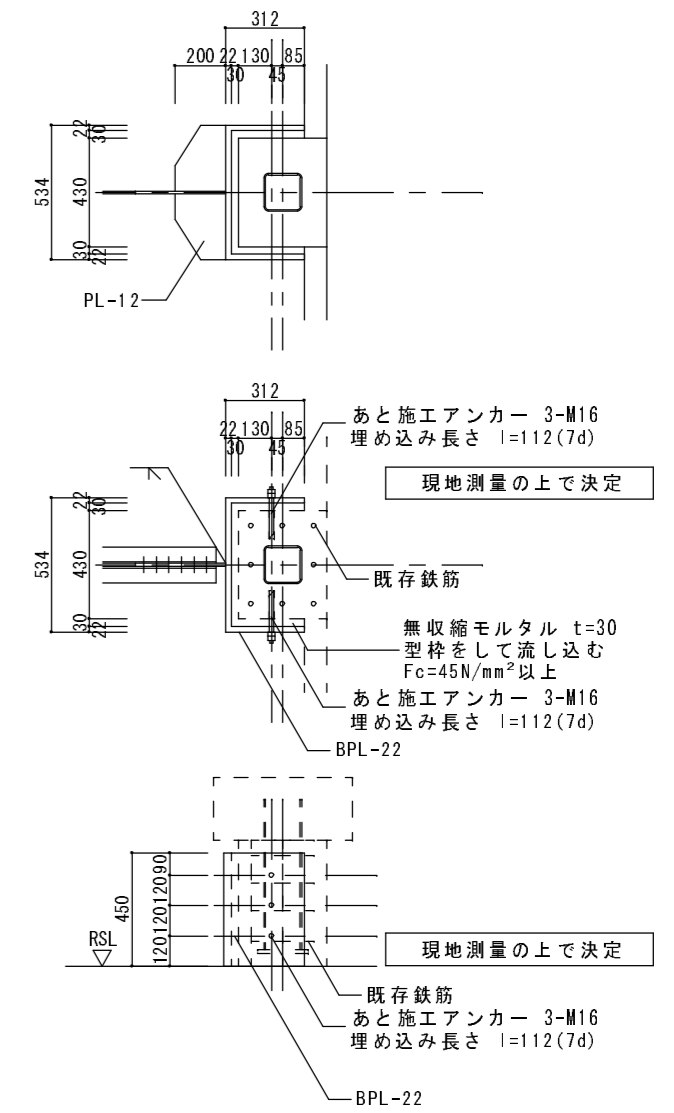
X15通軸組図 1/100

X16通軸組図 1/100





補強部材	
RV 1	1-M22
RV 2	L-75x75x9
RV 3	[-125x65x6x8
無収縮モルタル	$\sigma_m = 45 \text{ N/mm}^2$
鉄骨・鋼板	SS400
接着系アンカー	SNR400B (M16)
あと施工アンカーの非破壊引張試験強度	
M16 (8d)	16.2kN
突き合わせ溶接はすみ肉溶接として耐力計算を行うため、超音波探傷試験を省略する。	



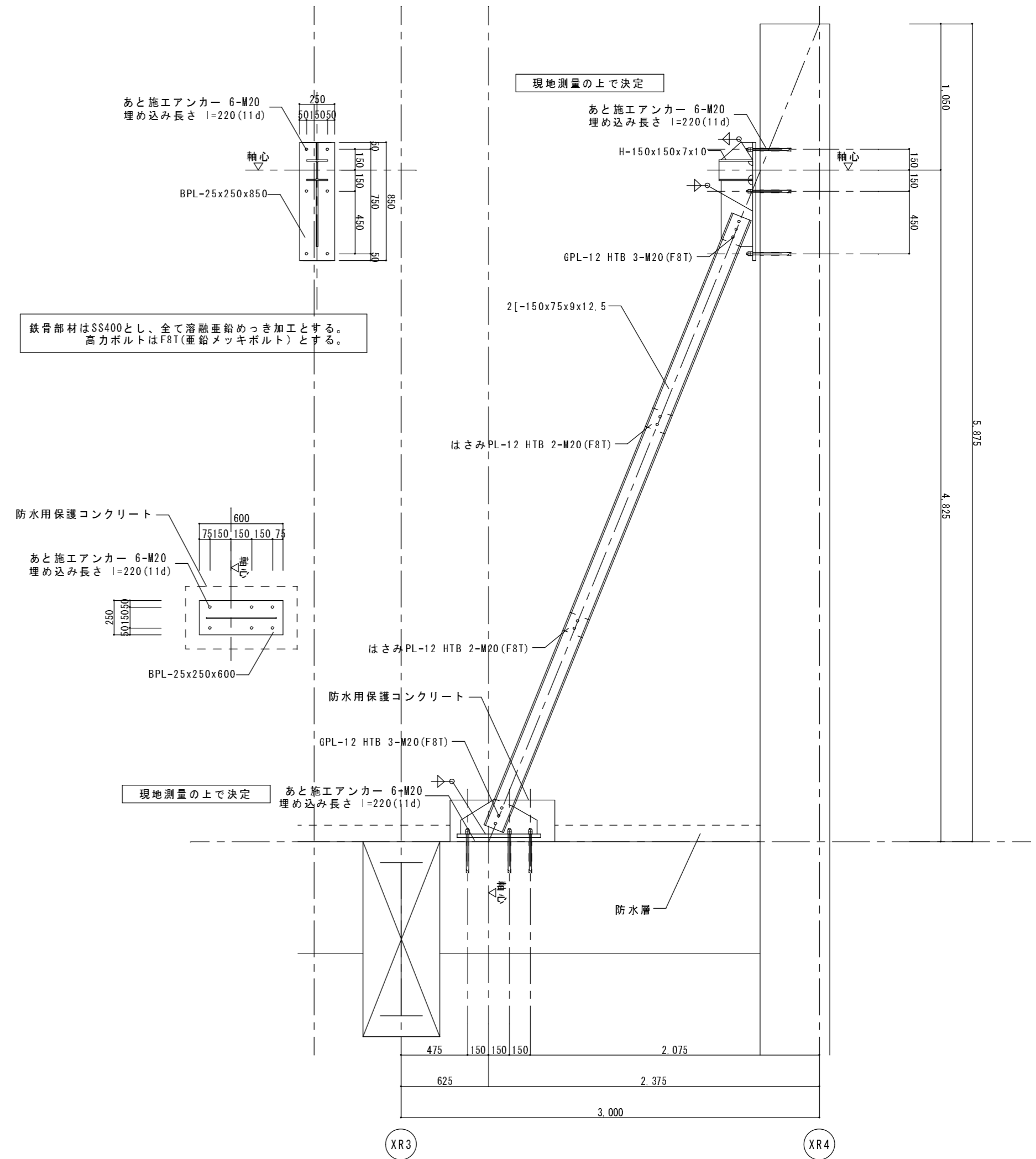
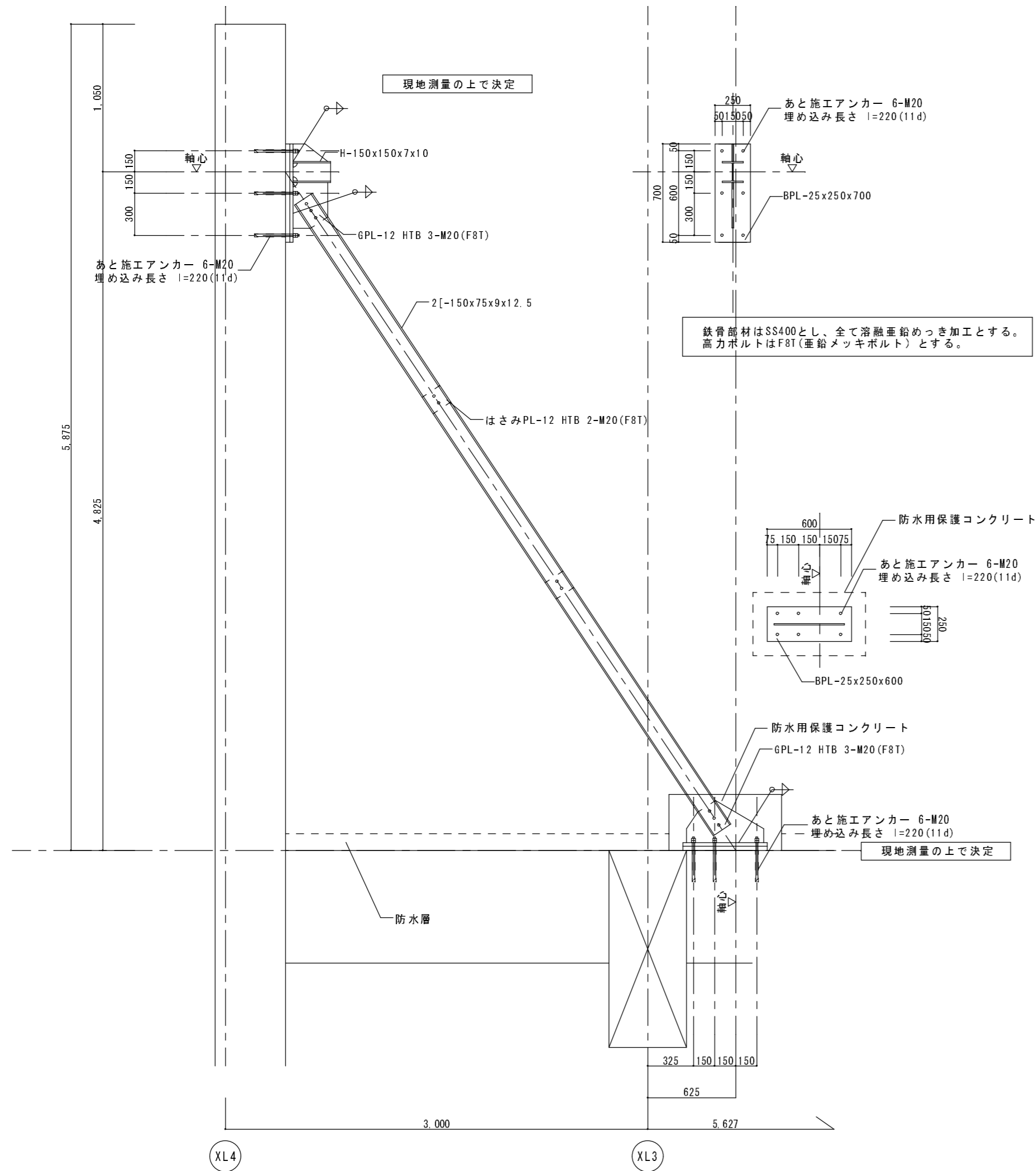
屋根ブレース補強詳細図 1/30

1F床ブレース補強詳細図 1/30

X12, X15通補強詳細図 1/30

Y6通補強詳細図 1/30





徳島県土整備部営繕課	●工事名	R2 営繕 蔵本公園 徳・庄町1 野球場本館棟耐震改修他工事	●図面番号	K-07	(株) 榎野一級建築設計事務所 榎野 清 徳島市川内町榎瀬久木821 TEL 088-665-0644 FAX 088-665-5626	R02-3
	●図面名	独立柱補強図	●縮尺	1:30		



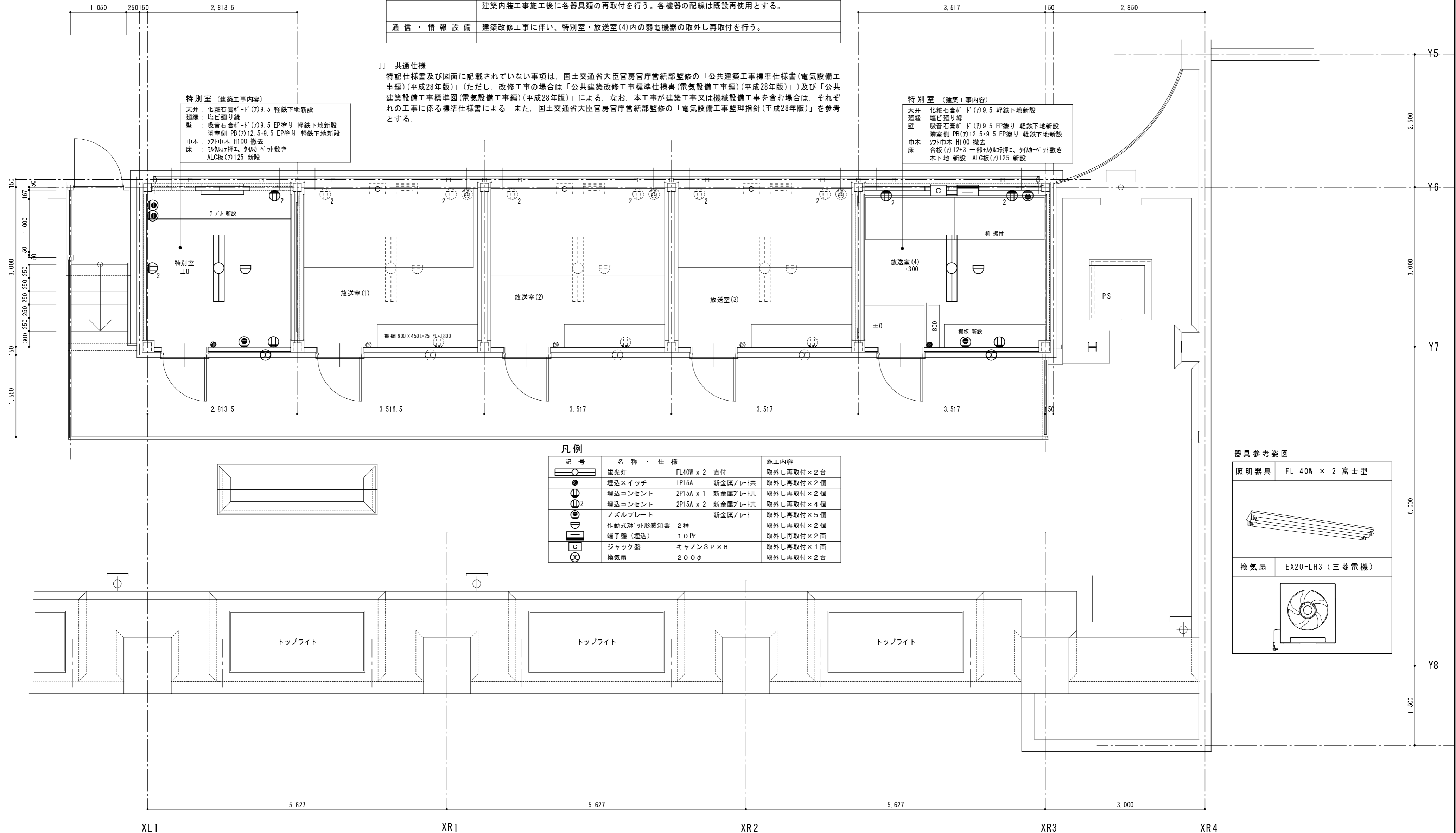
電気工事仕様書

1. 工事種目

種目	工事概要
電灯・コンセント設備	建築改修工事に伴い、特別室・放送室(4)内の照明器具・配線器具及び換気扇の取外し 建築内装工事施工後に各器具類の再取付を行う。各機器の配線は既設再使用とする。
通信・情報設備	建築改修工事に伴い、特別室・放送室(4)内の弱電機器の取外し再取付を行う。

11. 共通仕様

特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成28年版)」(ただし、改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成28年版)」)及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(平成28年版)」による。なお、本工事が建築工事又は機械設備工事を含む場合は、それぞれの工事に係る標準仕様書による。また、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針(平成28年版)」を参考とする。



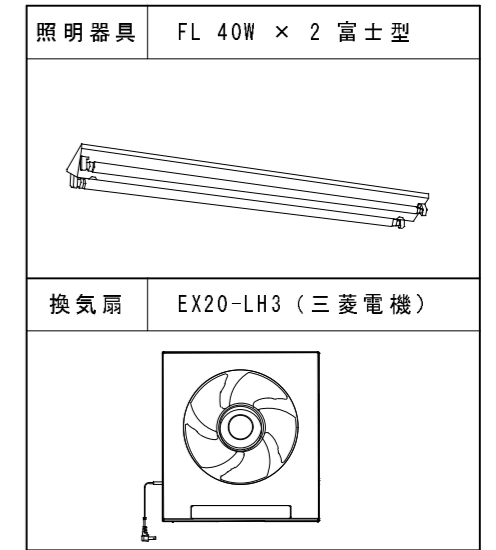
特別室 (建築工事内容)  
天井: 化粧石膏ボード(7)9.5 軽鉄下地新設  
廻縁: 塩ビ廻り縁  
壁: 吸音石膏ボード(7)9.5 EP塗り 軽鉄下地新設  
隣室側 PB(7)12.5+9.5 EP塗り 軽鉄下地新設  
巾木: 7/8巾木 H100 撤去  
床: 砂利入り押工、タタカベ付敷き  
ALC板(7)125 新設

特別室 (建築工事内容)  
天井: 化粧石膏ボード(7)9.5 軽鉄下地新設  
廻縁: 塩ビ廻り縁  
壁: 吸音石膏ボード(7)9.5 EP塗り 軽鉄下地新設  
隣室側 PB(7)12.5+9.5 EP塗り 軽鉄下地新設  
巾木: 7/8巾木 H100 撤去  
床: 合板(7)12+3 一部タタカベ付敷き  
木下地 新設 ALC板(7)125 新設

凡例

記号	名称・仕様	施工内容
☐	蛍光灯 FL40W x 2 直付	取外し再取付 x 2 台
●	埋込スイッチ 1P15A 新金属プレート共	取外し再取付 x 2 個
⊕	埋込コンセント 2P15A x 1 新金属プレート共	取外し再取付 x 2 個
⊕2	埋込コンセント 2P15A x 2 新金属プレート共	取外し再取付 x 4 個
⊙	ノズルプレート 新金属プレート	取外し再取付 x 5 個
⊕	作動式扉外形感知器 2種	取外し再取付 x 2 個
⊕	端子盤(埋込) 10Pr	取外し再取付 x 2 面
⊕	ジャック盤 キヤノン3P x 6	取外し再取付 x 1 面
⊕	換気扇 200φ	取外し再取付 x 2 台

器具参考図



## 管工事仕様書

### 1. 工事項目

種 目	工 事 概 要
機 器 設 備	F R P 製6 トンの耐震型高架水槽を新設する工事一式。
給 水 設 備	上記に伴う給水設備一式。
排 水 設 備	上記に伴う排水設備一式。
撤 去 工 事	上記に伴う既設高架水槽の撤去工事一式。

### 11. 共通仕様

特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)」(ただし、改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)」)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(平成31年版)」による。なお、本工事が建築工事又は電気設備工事を含む場合は、それぞれの工事に係る標準仕様書による。また、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針(令和元年版)」を参考とする。

#### 11.1. 特記仕様1(一般共通事項)

- 本工事に必要な工所用電力、水などの費用及び官公署への諸手續などの費用は本工事に含む。官公署その他への届出手続等は(標仕 <1>1. 1. 3)により行う。なお、(監理指針 <1>1. 1. 4)を参考とする。
- 工事の着手に先立ち工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督員に提出する。また、品質計画及び工種別の施工計画書並びに施工図等を当該工事の施工に先立ち作成し、監督員に提出する。品質計画及び施工図等については、監督員の承認を受ける。(標仕 <1>1. 2. 2、<1>1. 2. 3)

品質管理は、適切な時期に品質計画に基づき確認、試験又は検査を行う。結果が管理値を外れるなど疑義が生じた場合は、品質計画にしたがって適切な処理を施す。

また、その原因を検討し、再発防止のための必要な処置をとる。(標仕 <1>1. 3. 4、監理指針 <1>1. 3. 4)

使用する機材が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料(製作図、試験成績書を含む)を監督員に提出する。(JISマーク等表示品を除く)(標仕 <1> 1. 4. 2)

上記の施工計画書には、「地下埋設物等の近接作業に関する事項」を設けること。
- 設計図書に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、「疑義に対する協議等」(標仕 <1>1. 1. 8)による。
- 本工事の施工及び管理にあたり法規上必要となる有資格者については、工事着手前に資格者名簿を提出する。
- 本工事のうち建築工事、電気工事及び管工事について下請業者を使用する場合は、工事の施工に十分な能力と経験を有した者を選定すること。
- 機器類は、図示する形状又は配管などの取出し位置等により、特定製造者の特定の製品を指定若しくは限定しない。
- 既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。(改修標仕 <2>4. 1. 3)

梁、スラブ等の構造体貫通の場合は、施工方法について監督員の確認を受けた後に施工する。
- 本工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にせよ補修する。
- 発生材の処理等は、「発生材の処理等」(標仕 <1>1. 3. 9)により行う。
  - PCBを含む機器は、調書を添えて引き渡すとする。
  - 空調機等の整備や撤去処分を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律をはじめとする関係法令に基づき、作業や手続きを行う。家電リサイクル法に該当する機器については、家電リサイクル法により処理すること。
- 耐震施工

「官庁施設の総合耐震計画基準及び図解説(平成8年版)(建設大臣官房官庁営繕部監修)」によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針(2005年版)(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)」による。

  - 本工事の建物分類は、((**特定の施設**)・一般の施設)であり、地域係数は、(**1.0**)・0.9)とする。
  - 設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)による。地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合の設計用水平震度は次による。

設計用標準水平震度		特定の施設		一般の施設	
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類	<b>2.0</b>	1.5	1.5	1.0
中層階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

(注) 上層階の定義は次のとおりとする。

2～6階の場合は最上階、7～9階の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階

重要機器 ( ・ 防災機器 ・ 火気を使用する機器 ○ タンク類 ・ )

(3) 設計用鉛直地震力は、設計水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

(4) 質量100kg以下の軽量な機器(標仕の適用を受けるものは除く)の取付については、機器製造者の指定する方法で確実に取付けを行うものとし、特に計算を行わなくともよい。

#### 11. 各種荷重計算

対象機材 ( ○ 屋上、塔屋等に設置する機器 ・ )

#### 12. 強度計算

対象機材 ( ・ 配管及びダクト支持材 ・ 煙道支持材 ・ )

コンクリート工事

受水槽基礎 ( ・ 強度試験 ( ・ 公共試験機関 ・ JIS工場 ) ・ 構造体強度補正值(S)による補正 ・ 調査表提出 ・ アルカリ骨材反応抑制対策確認 ・ 鉄筋材料の規格品証明書提出 )

※強度試験の立会いについて、試験を第3者機関で行う場合は、現場代理人又は主任(監理)技術者が、JIS工場の場合は、立ち会い者を定め監督員の承認を受け、行うものとする。

#### 1V. 特記仕様2(特記事項)

- 配管の吊り及び支持は、「標仕」及び「標準図」に従い行う。(標仕 <2>2. 6. 1、<2>2. 6. 3)
- 床下土中埋設配管についても吊り又は支持を行い、管の保護のため山砂の類にて管の周囲を埋め戻した後、掘削土の良質土で埋め戻す。
- 管(排水管を除く)を屋外土中埋設する場合は管の保護のため砂の類にて管の周囲を埋め戻した後、掘削土の良質土で埋め戻し、地中埋設表示(表示テープ及び埋設標)を行う。(標仕 <2>2. 7. 1、監理指針 <2>2. 7. 1)
- 排水管を屋外土中埋設する場合は、「標仕」の当該事項に従い根切り底には再生クラッシャーランを遣り方にならない敷き込み、突き固めた後、管をなじみ良く布設する。埋め戻しは、山砂の類で管の周囲を埋め戻し十分充てんした後、掘削土の良質土で所定の埋め戻しを行う。(標仕 <2>2. 7. 1、監理指針 <2>2. 7. 1)
- 給湯管のコンクリート及びコンクリートブロック埋設部は被覆鋼管を、床下土中埋設部は保温付被覆鋼管をそれぞれ使用する。
- ガス管のコンクリート及びコンクリートブロック埋設部、床下土中埋設部は、合成樹脂被覆鋼管を使用する。
- スリーブ材料については、(標仕 <2>2. 2. 27、監理指針 <2>2. 2. 27)による。貫通部の処理については、(標仕 <2>2. 8. 1、標準図 施工1、監理指針 <2>2. 8. 1)による。なお、紙製仮枠を用いる場合は、変形防止の措置を講じる。
- 液化石油ガス設備は、液化石油ガス設備士により気密試験を行い試験成績書を提出する。
- 弁類で、公営水道に直結する配管に使用するものはJIS-10Kとし、高置水槽以降の配管に使用するものはJIS-5Kとする。ただし、特記部分はJIS-10Kとする。
- 保温工事種別について、給水管、排水管及び給湯管は、原則グラスウール保温材とする。給水管の床下、暗渠内及び屋外露出部分は、ポリスチレンフォーム保温材とする。ただし、耐火二層管は保温を行わない。
- 消火管の屋外露出部分については、ポリスチレンフォーム保温材により保温を行う。
- 給水用配管で、ポンプ廻りの防振継手、フレキシブルジョイント及び弁は保温を行わない。
- ポンプ及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製(SUS304)又は溶融亜鉛めっき製(HDZ35以上)とし、屋外あと施アンカーボルトの選定については、次による。
  - 機器類の固定には、金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーを使用し、次の機器については、施工後確認試験を行う。( ・ 受水槽 ・ 高架水槽 ・ 給水ポンプ装置 ・ )
  - 配管の吊り及び支持材の固定には、その自重に十分耐えうるアンカーを使用する。なお、耐震支持に使用する躯体取付用のアンカーは金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーとする。
  - 屋外に使用するものはステンレス製(SUS304)又は溶融亜鉛めっき製(HDZ35以上)とする。
- 次に指定する部分の露出する配管、ダクト、支持金物、架台等のうち亜鉛めっき面及び合成樹脂面の塗装は行わない。( ・ ダクトスペース、パイプシャフト ・ )

屋内、屋外及びピット内の支持金物等のうち、ステンレス製(SUS304)又は溶融亜鉛めっき製のものは、原則塗装を行わない。硬質塩化ビニル管にカラーパイプを使用する場合は、監督員との協議により塗装を省略することが出来る。

次の部分の露出する電線管、支持金物、架台等は塗装を行う。

( ・ 一般居室、廊下等 ・ )

亜鉛めっき金属電線管はエッチングプライマー1種(JIS-K-5633)による化学処理を行った後調合ペイント2回塗りとする。屋外布設の厚鋼電線管は、めっき付着量が300g/m<sup>2</sup>のものを使用し、塗装不要とする。
- 水圧試験、満水試験、気密試験等は、配管途中若しくは隠べい、埋め戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。(標仕 <2>2. 9. 1)
- 衛生器具をコンクリート又はれんがに壁に取り付ける場合は、エキスパンションボルト又は樹脂製プラグを使用し、木れんがの場合は、防腐剤を塗布したものを壁体に埋込む。(標仕 <5>2. 1. 1)
- 衛生器具をコンクリートブロック壁面に取り付ける場合は、補強のため取付部分のブロック内の空洞部分をモルタル等で埋める。また、間仕切り壁等の場合は、壁内に補強材を取り付ける。(監理指針 <5>2. 1. 1)
- 洗面器類の排水トラップと鋼管又は塩ビ管との接続は、専用アダプターによる。
- 機器には名称及び記号を、配管及びダクトには、識別表示・用途・流れ方向を記入する。(標仕 <1>1. 7. 4)

なお、屋外及び水気のある場所(弁室内等を含む)での機器の名称・配管識別表示等については、塗装書き又は耐候性を有するカッティングシートとし、バルブの状態表示を示す表示札等については、合成樹脂製又はアクリル製で文字等がシルク印刷又はエッチング加工されたものとする。
- 機材の検査に伴う試験については、標仕 <1>1. 4. 6)により行う。製造者において試験方法を定めている項目については、試験要領書を提出する。
- ユニット形浄化槽の製作に際しては「製品検査要領」を提出した後、製品検査を実施する。現地据付に際しては「据付検査要領」を提出する。
- ユニット型浄化槽は国土交通大臣の型式認定品とし、製造者標準仕様品とする。「本体構造等」(標仕 <8>3. 1. 1)で準用する現場施工型浄化槽の機材の仕様については参考とする。
- 浄化槽の蓋(枠を含む)は、溶融亜鉛めっき仕上げの鋼板製若しくは溶融亜鉛めっき仕上げの鑄鉄製とし、固定が確実で、十分な防臭性能及び耐候性を有すること。
- 試運転調整にあたっては、(監理指針 参考資料 資料2 試運転調整法 2. 1、2. 2)を参考とする。低圧屋内配線、弱電流電線については絶縁抵抗測定を行う。

#### V. 使用材料(管材)

用 途	名 称	番 号	備 考	
○ 給 水	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6742	H1VP	
	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 116	SGP-VA (管端防食継手)	
	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 116	SGP-VD (管端防食継手)	
	水道用ポリエチレン二層管	JIS K 6762	①W又は②W	
	水道配水用ポリエチレン管	JWWA K 144	EF継手	
	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	VP	
	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	WSP 042	DVLP	
	耐火二層管(内管VP)			
	排 水(衛生器具接続部)	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	VP
	〇 (屋外)	下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管	AS 62	RS-VU
給 湯	鋼管(Mタイプ)	JIS H 3300		
	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 140	SGP-HVA (管端防食継手)	
〇 (地中埋設部)	保温付被覆鋼管			
	(コンクリート埋設部) 被覆鋼管	JIS H 3300		
消 火	配管用炭素鋼管(白)	JIS G 3452	SGP	
	〇 (地中埋設部)	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	WSP 041	SGP-VS
ガ ス	配管用炭素鋼管(白)	JIS G 3452	SGP	
	〇 (地中埋設部)	硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(黒)		
油	ガス用ポリエチレン管	JIS K 6774		
	〇 (地中埋設部)	配管用炭素鋼管(黒)	JIS G 3452	SGP

#### VI. 機材等

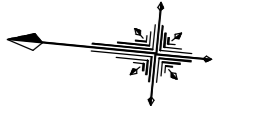
- 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの、又は同等のものとする。ただし、同等のものを使用する場合は、あらかじめ監督員の承認を受ける。
- 下表に示す材料・機材等の製造業者等は次の(1)から(3)の事項を満たすものとし、証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたものを示す書面を提出して監督員の承認を受ける。
  - 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
  - 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。
  - 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

品 目	機 材 名 ・ 注 記
ボイラー	鋼製簡易ボイラー、鑄鉄製ボイラー、鋼製小型ボイラー、鋼製ボイラー
温水発生機	真空式温水発生機(鋼製・鑄鉄製)、無圧式温水発生機(鋼製・鑄鉄製)
ポンプ類	横形遠心ポンプ、立形遠心ポンプ、水中モーターポンプ(汚水用、雑排水用、汚物用)
タンク	FRP製パネルタンク、ステンレス鋼板製パネルタンク(溶接組立形、ボルト組立形) 密閉形隔膜式膨脹タンク(給湯用)
消火装置	スプリンクラー消火システム、不活性ガス消火システム、泡消火システム
鑄鉄製ふた	マンホールふた、弁柵ふた

	徳島県土整備部営繕課	●工事名 R 2 営繕 蔵本公園 徳・庄町1 野球場本館棟耐震改修他工事	●図面番号 P-01	(株)植野一級建築設計事務所 植野 清	R02-3
		●図面名 管工事仕様書	●縮尺 NON		徳島市川内町榎瀬久木8 2 1 TEL 088-665-0644 FAX 088-665-5626



徳島大学医学部・歯学部・薬学部



市道庄町1丁目東線

国道192号線

南庄町1丁目

南庄町2丁目

徳島県道徳島北道線

休憩所

駐車場

運動広場

集草園

25mプール

50mプール

飛込プール

ジュニアプール

北棟

南棟

テニスコート

テニスコート

テニスコート

テニスコート

相撲場

本館棟3階 屋上部分

本工事場内

野球場

搬出入経路

交通誘導員 (B1人×2日)

駐車場

市道蔵本公園線 (前面道路)

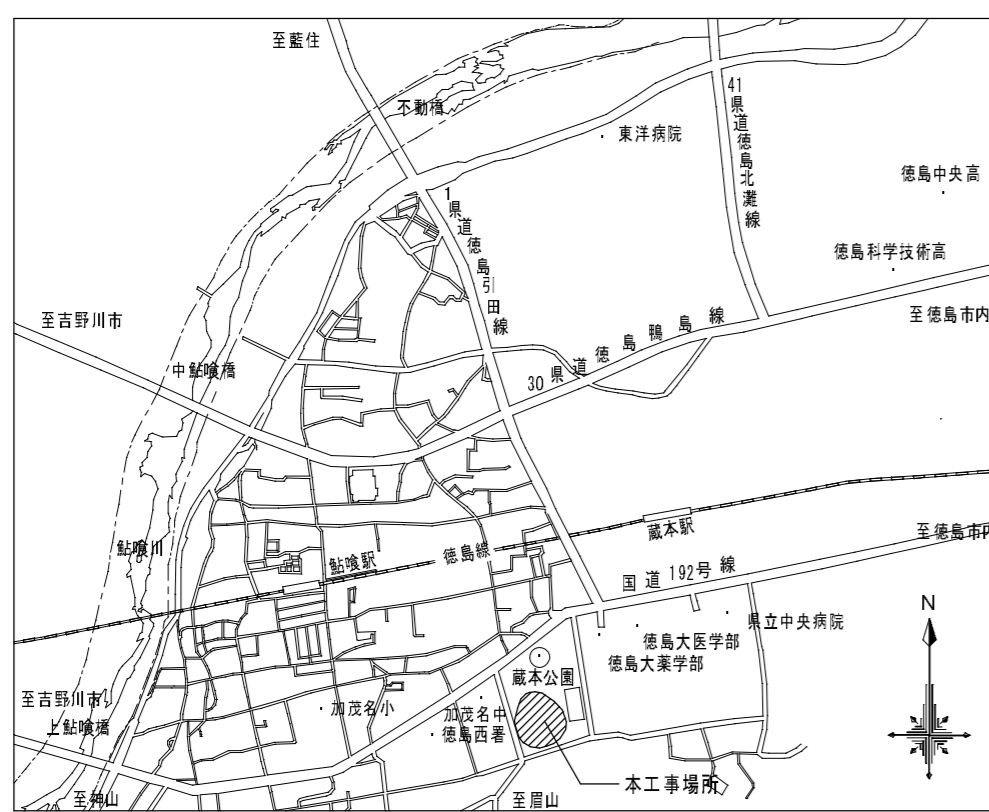
徳島市加茂名中学校

製菓指導所  
菓草園敷地

蔵本公園敷地

徳島市西消防署

付近見取図



全体配置図 1:1000

徳島県土整備部営繕課	●工事名 R2営繕 蔵本公園 徳・庄町1 野球場本館棟耐震改修他工事	●図面番号 P-02	(株) 榎野一級建築設計事務所 榎野 清 徳島市川内町榎瀬久木821 TEL 088-665-0644 FAX 088-665-5626	R02-3
	●図面名 付近見取図・全体配置図	●縮尺 1:1000		



機器表 (既設機器)

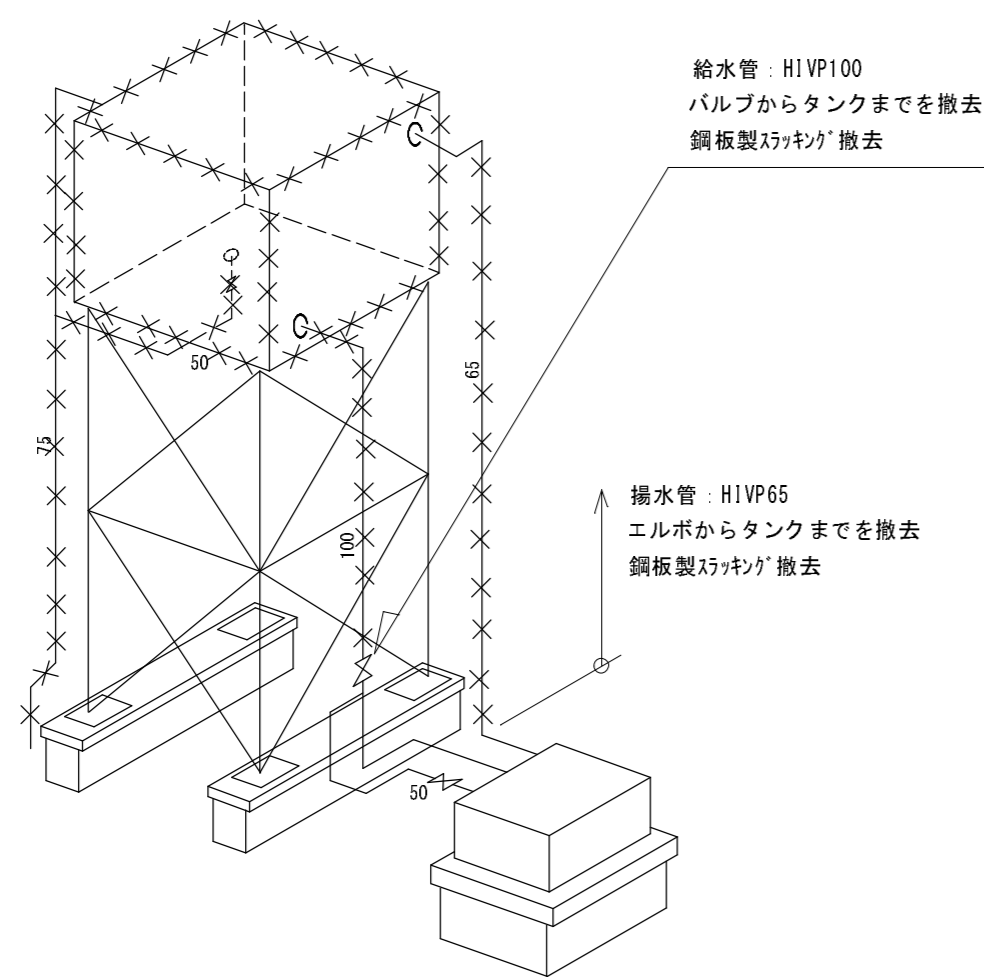
記号	名称	仕様	基礎	数	設置場所	撤去範囲
TW 1	高架水槽	FRP製一体型、単板構造 1槽式、呼称容量6.0m <sup>3</sup> 寸法：幅2.0m×長さ2.0m×高さ1.5mH マンホール600φ、内外梯子	(再使用)	1基	屋上	本体
<p>※特記事項</p> <p>1. 高架水槽の電極は撤去処分とする。(配管配線類は再使用)</p>						

撤去処分

機器表 (新設機器)

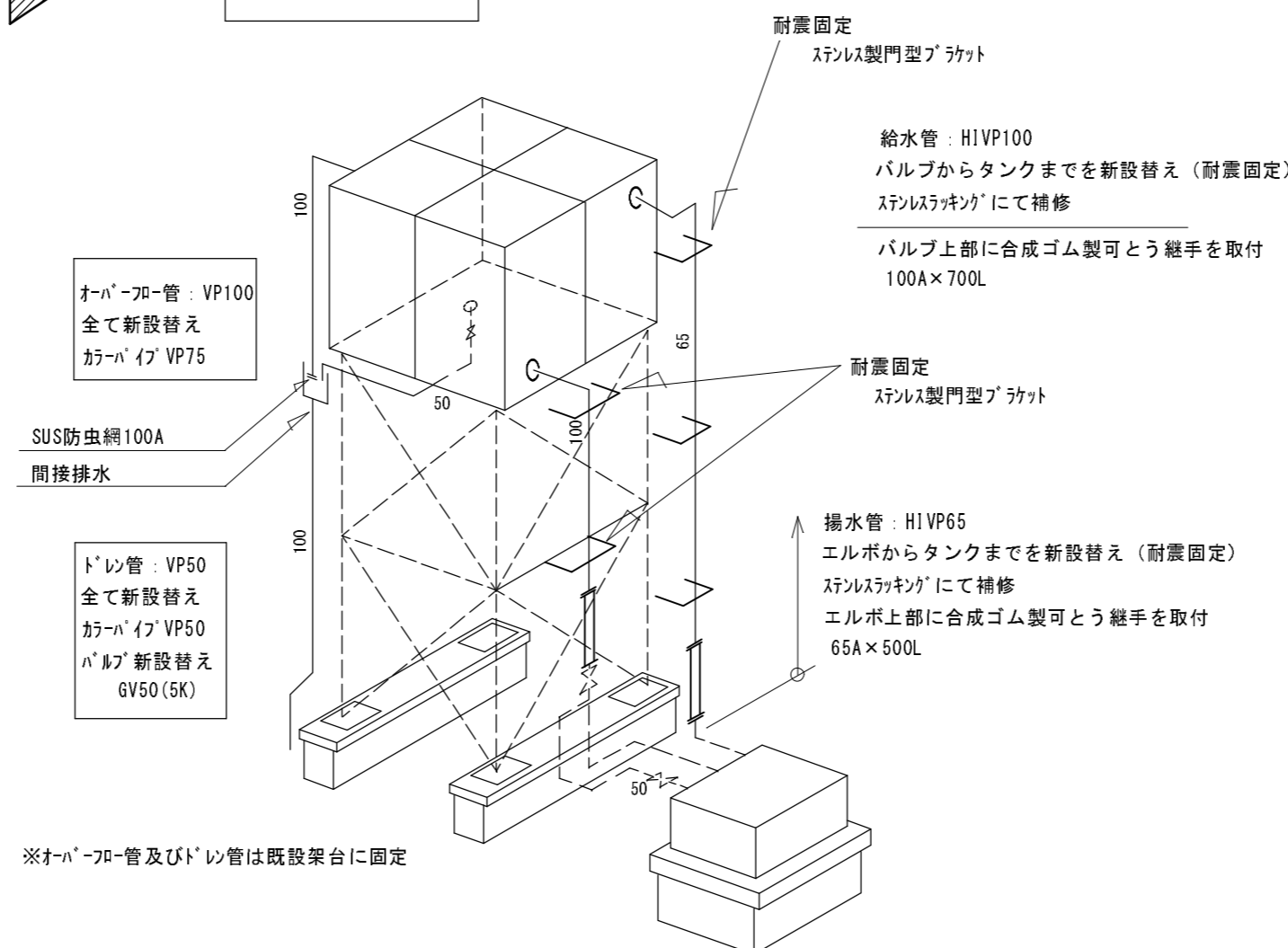
記号	名称	仕様	基礎	数	設置場所
TW 1	高架水槽	FRP製パネル組立型、複合板型(外部補強構造)、耐震仕様：2.0G 呼称容量6.0m <sup>3</sup> 、実容量4.0m <sup>3</sup> 以上 寸法：幅2.0m×長さ2.0m×高さ1.5mH マンホール600φ(シリンダー錠共)、各種タッピング、内外梯子共 外梯子は既設架台(3.0m)と基礎(0.52m)を見込んだ高さとする 鋼製平架台共	既設再使用 (既設架台共)	1基	屋上
<p>※特記事項</p> <p>1. 高架水槽用電極への配管配線の一時取外し再取り付け共とする。(既設電極再使用)</p> <p>2. 高架水槽鋼製平架台は溶融重鉛めつき仕上げとする。</p> <p>3. 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成28年版)に準じる。</p> <p>4. 水槽は複合板構造とする。(天井も複合板構造とする)</p> <p>5. パネル締結用ボルトはSS溶融重鉛めつき品とする。気相部は樹脂ライニングボルト・ナットとする。</p> <p>6. 槽本体は、スロッシング対応型とする。</p>					

改修前

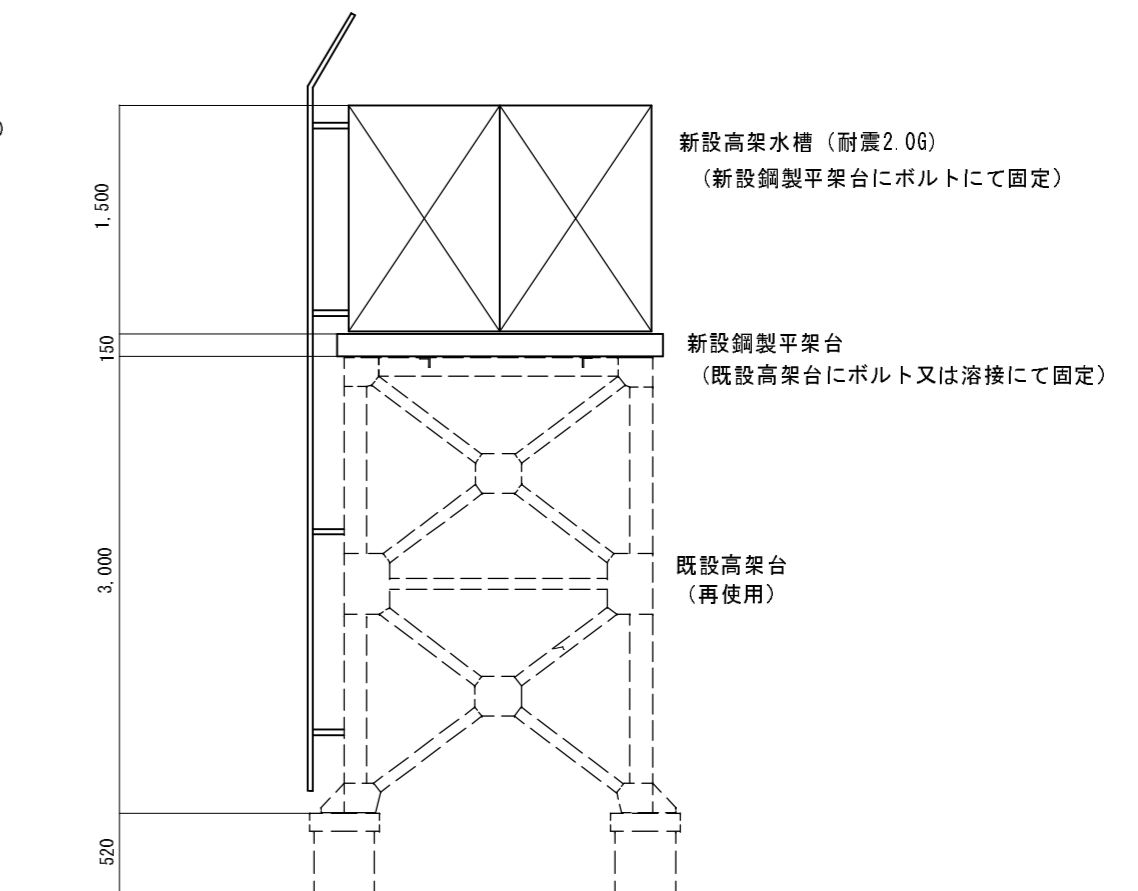


改修詳細図

改修後

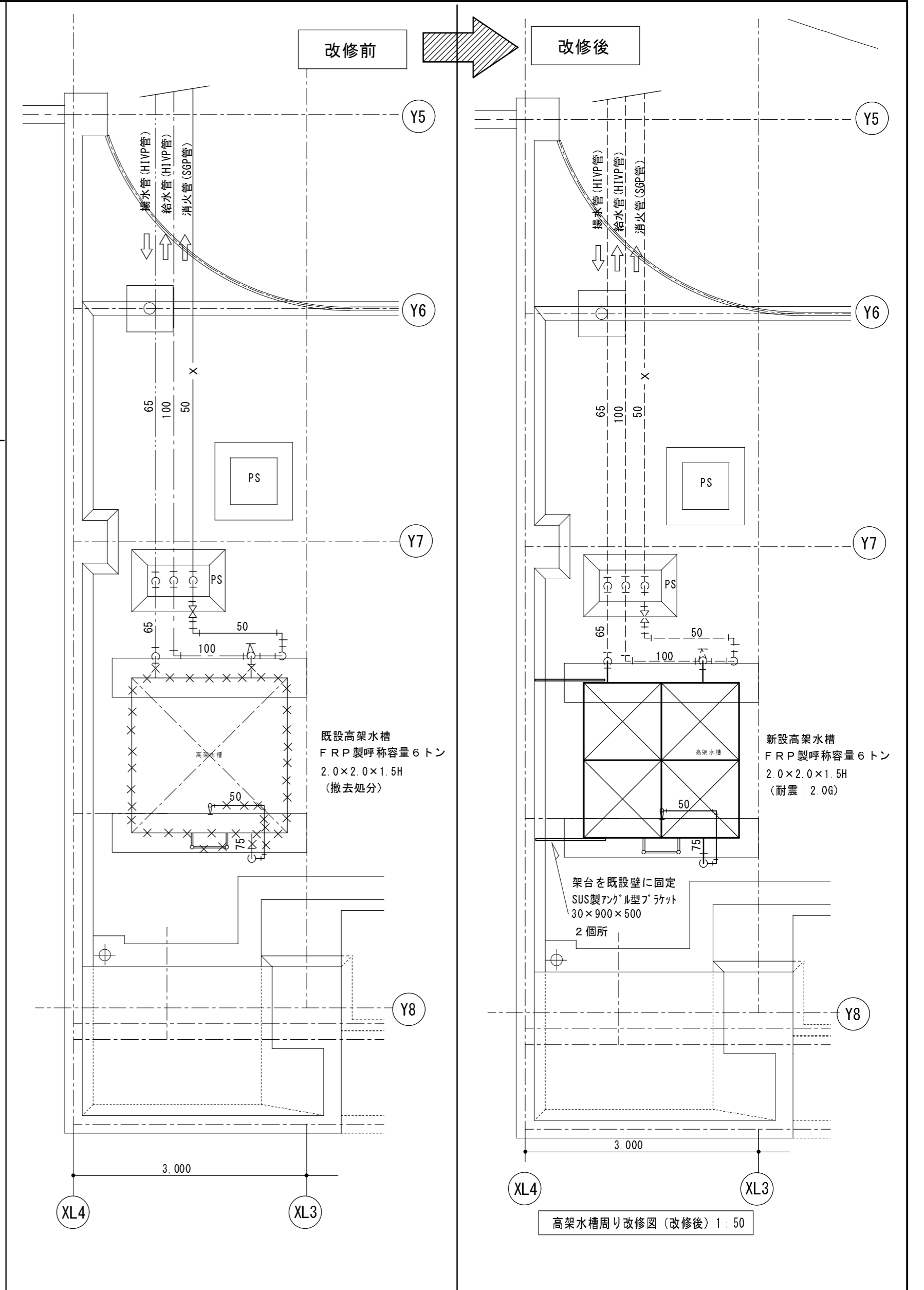
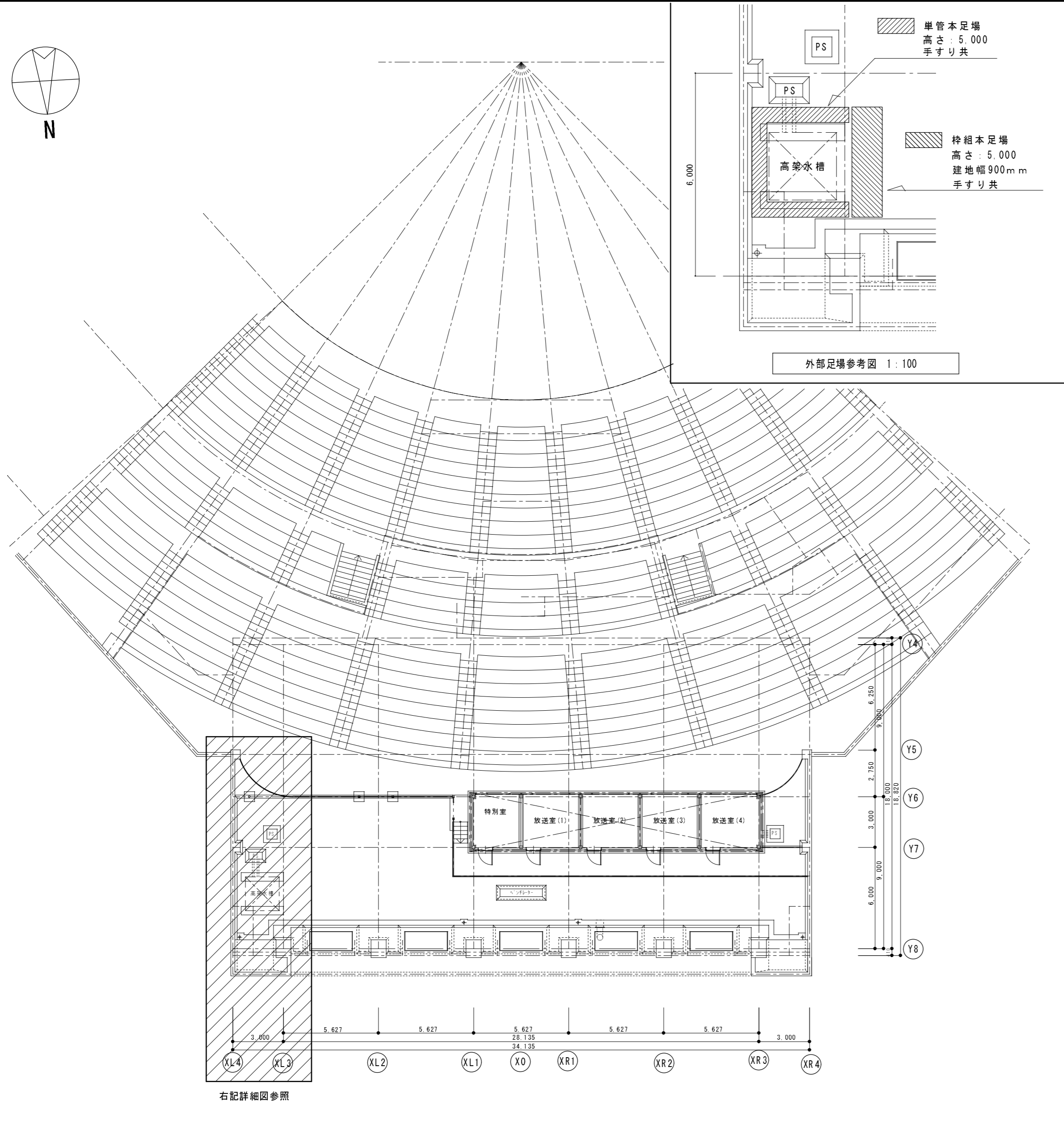
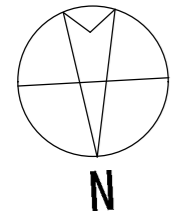


改修詳細図



改修詳細図 1:50



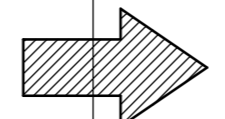


徳島県土整備部営繕課	●工事名 R2営繕 蔵本公園 徳・庄町1 野球場本館棟耐震改修他工事	●図面番号 P-04	(株) 榎野一級建築設計事務所 榎野 清 徳島市川内町榎瀬久木821 TEL 088-665-0644 FAX 088-665-5626	R02-3
	●図面名 本館棟3階管工事改修図	●縮尺 1:200 1:100 1:50		

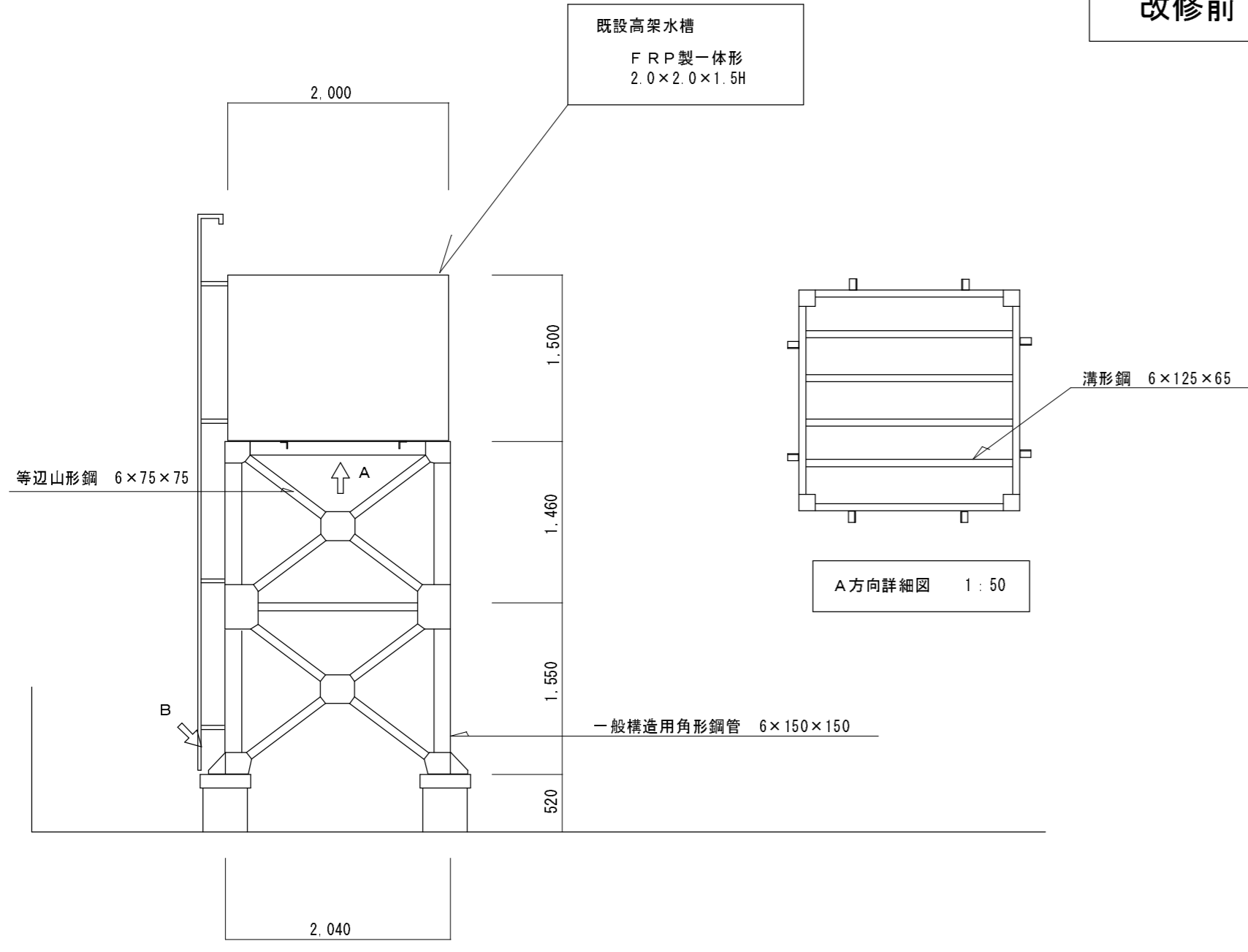
徳島県土整備部営繕課	●工事名 R2営繕 蔵本公園 徳・庄町1 野球場本館棟耐震改修他工事	●図面番号 P-04	(株) 榎野一級建築設計事務所 榎野 清 徳島市川内町榎瀬久木821 TEL 088-665-0644 FAX 088-665-5626	R02-3
	●図面名 本館棟3階管工事改修図	●縮尺 1:200 1:100 1:50		



改修前

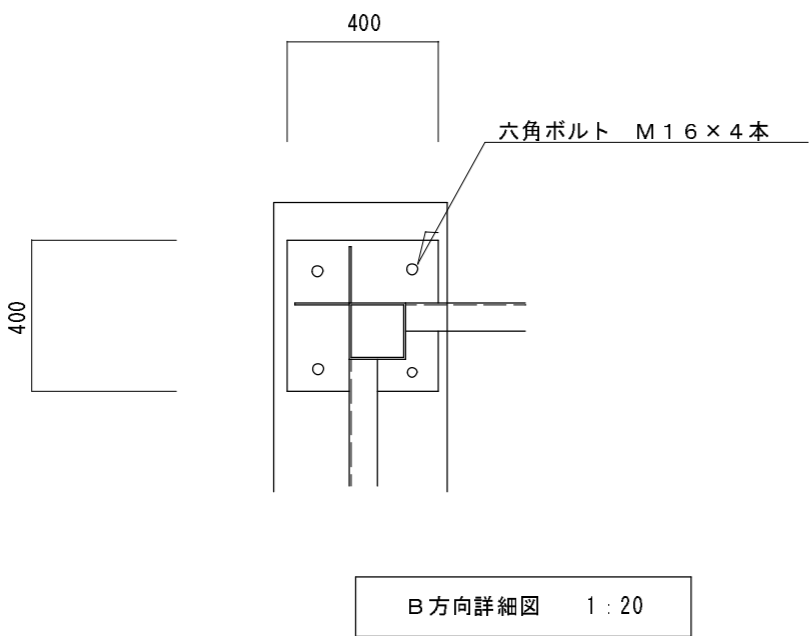


改修後

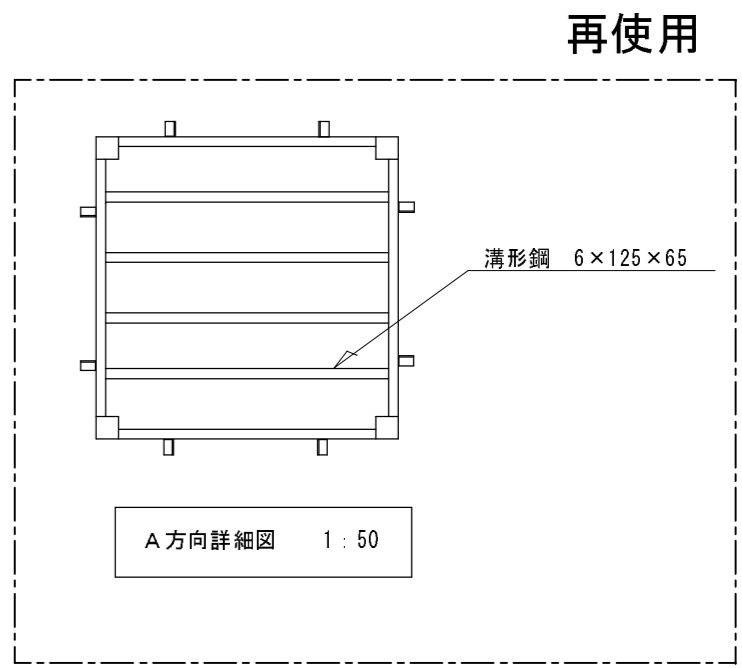
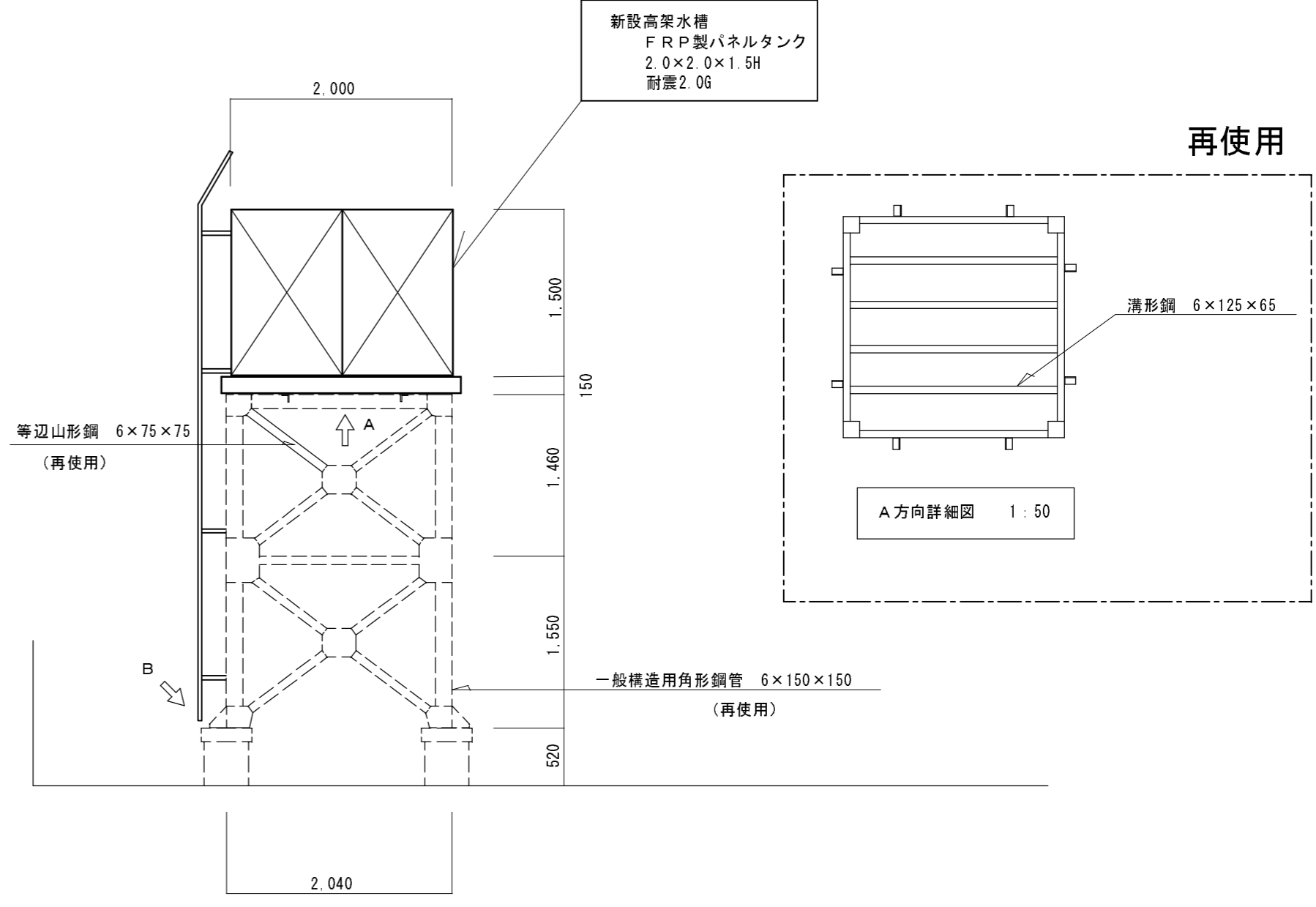


A方向詳細図 1:50

既設高架水槽詳細図 1:50

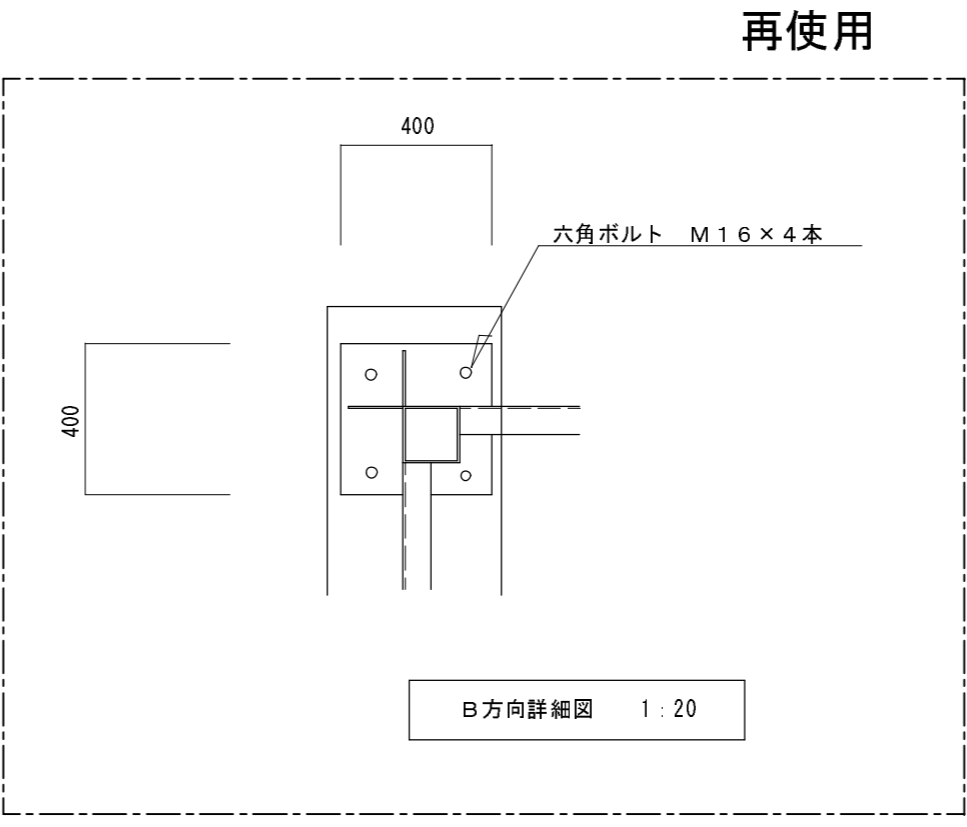


B方向詳細図 1:20



A方向詳細図 1:50

新設高架水槽詳細図 1:50



B方向詳細図 1:20